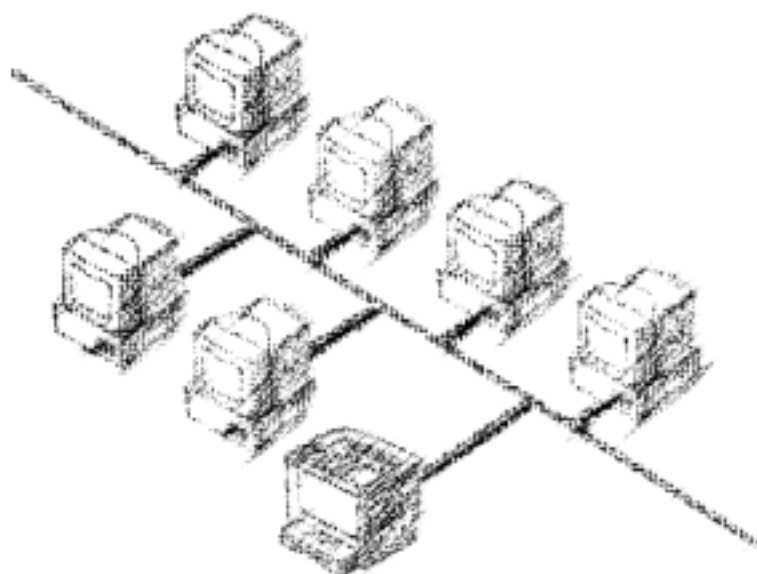
LP-9200PS3

ネットワーク設定ガイド

- 第 2 版 -

取扱説明書

EPSON

4010995-00

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービス及び技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品を安全にお使いいただくために

お買い求めいただきました弊社製品を安全かつ有効にお使いいただくために、製品をご使用の際は、本書ならびにプリンタの取扱説明書を必ずお読みくださいますようお願いいたします。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書のご案内

詳しい目次は次ページにあります。

目次

7 ピア・ツー・ピア印刷

8 FTP 印刷

9 ユーティリティの各種設定

付 録

本文中のマークと表記について

このようなマークのある部分には、注意事項を記載しています。必ずお読みください。

このようなマークのある部分には、補足的な説明を記載しています。

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Microsoft® Windows NT® operating system 日本語版
の表記について

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows95、Windows98、WindowsNTと表記しています。また、Windows95、Windows98、WindowsNTの総称として「Windows」と表記する場合があります。

1 ご使用のまえに

特長

- **コネクタ**
  10BASE-T/100BASE-TX 用コネクタを装備しています。コネクタは自動選択されます。
- **IP アドレス設定**
  プリンタの操作パネル、およびプリンタに内蔵されている Web ブラウザユーティリティから、プリンタの IP アドレスを設定できます。
- **Web ブラウザからのネットワーク設定情報管理**
  プリンタに HTTP サーバを内蔵しているので、IP アドレスを設定後、Web ブラウザユーティリティでネットワーク設定の監視と管理ができます。
- **Windows ピア・ツー・ピア印刷**
  TCP/IP または IPX/SPX をお使いの場合に、ピア・ツー・ピアでプリンタの検出と印刷ができます。
  Windows95/98 や WindowsNT4.0 以降のワークステーションからご利用になれます。
- **FTP 印刷**
  FTP 印刷ができます。
- **プロトコルの有効 / 無効設定**
  Telnet から、TCP/IP 以外のプロトコルを必要に応じて有効 / 無効に設定することができます。
- **MAP（Management Access Program）ユーティリティ**
  NetWare、TCP/IP をお使いの場合、MAP から、ネットワーク情報設定ユーティリティである Web ブラウザユーティリティを起動できます。

動作環境

次の環境で使用できます。

ネットワークOS

OS	バージョン	接続プロトコル
NetWare	3.1xJ	バインダリモード
	4.1xJ、IntranetWare-J	NDSモード、 バインダリエミュレーションモード
Macintosh	漢字Talk7.1/7.5.x、 MacOS 7.6.x/8.x	AppleTalk
WindowsNT	3.51/4.0	TCP/IP
UNIX	Sun OS 4.1.3/4.1.4/5.3、 Solaris1.1.3/2.3/2.4/2.5/2.6、 HP-UX 9.014/10.0/11.0	TCP/IP

NetWareのリモートプリンタモードには対応していません。

クライアントOS

OSとバージョン	接続プロトコル
Windows95/98	TCP/IP（WindowsNTサーバまたはNetWareサーバ経由）
	TCP/IPまたはIPX/SPX（ピア・ツー・ピア印刷）
WindowsNT3.51/4.0	TCP/IP（LPR）
WindowsNT4.0	TCP/IPまたはIPX/SPX（ピア・ツー・ピア印刷）
Macintosh 漢字Talk7.1/7.5.x、 MacOS 7.6.x/8.x	AppleTalk
UNIX SunOS 4.1.3/4.1.4/5.3、 Solaris 1.1.3/2.3/2.4/2.5/2.6、 HP-UX 9.014/10.0/11.0	TCP/IP

Web ブラウザ

ネットワークの設定には、内蔵されたWeb ブラウザユーティリティを使います。使用できるWeb ブラウザは次のとおりです。

- Netscape Navigator 3.x 以降
- Internet Explorer 3.x 以降

設定ユーティリティの動作環境

ネットワーク設定ユーティリティ（MAP、IP ピア･ツー･ピア、IPX ピア･ツー･ピア）の動作環境は次のとおりです。

- Windows95/98
- WindowsNT4.0 Workstation

ネットワーク LED インジケータ

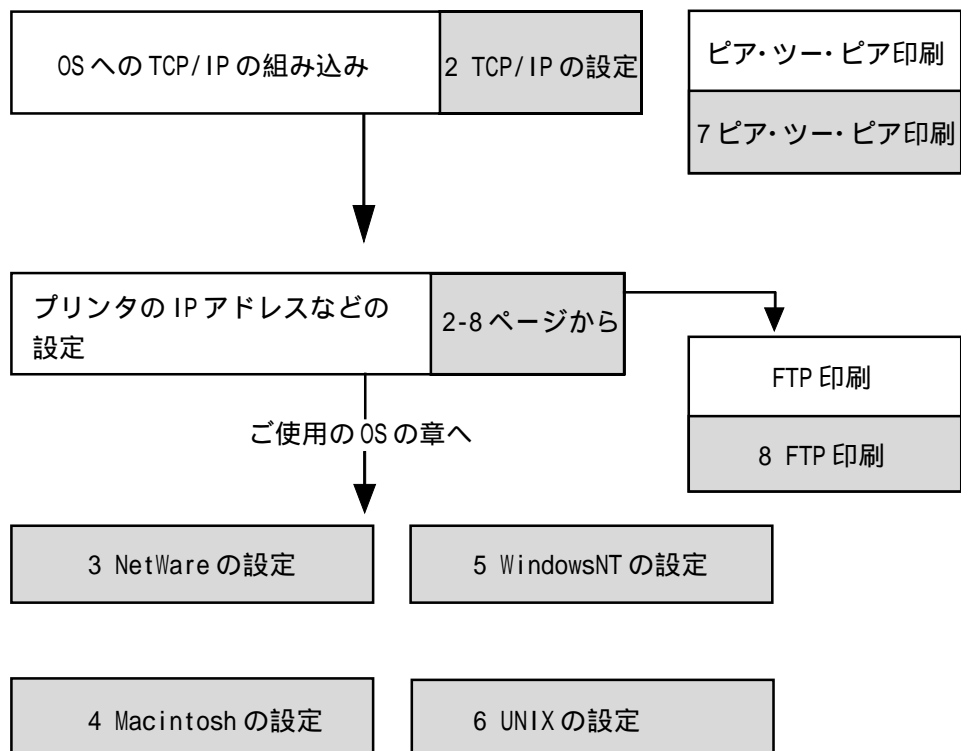
プリンタの背面にある LED インジケータについて説明します。

LED インジケータ

ネットワークの動作状態を表すランプです。

緑	黄	状態
点灯	消灯	正常動作中
3回点滅後、点灯	消灯	ステータスページ印刷中
すばやく4回点滅して停止	消灯	イーサネットハードウェアのエラー。ネットワークをチェックしてください。
ゆっくり点滅	消灯	プリンタインターフェイスエラー。
すばやく点滅	消灯	ファイルサーバへのNetWare接続が切断。
点滅	点滅	工場出荷時の状態にリセット済み。**付録-5**の手順に従って設定してください。

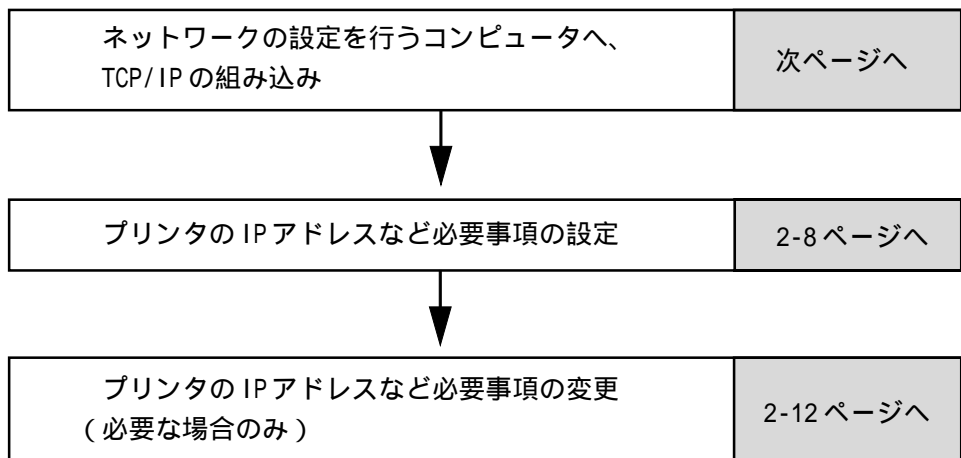
設定の流れ

LP-9200PS3をネットワーク上で使うための、ネットワークについてのおおまかな設定手順と参照ページは、次のとおりです。

2 TCP/IP の設定

プリンタをネットワーク上で設定し使用するために、コンピュータへの TCP/IP の組み込みと、プリンタの IP アドレス設定を行います。

概要

作業の流れ

ネットワークの設定を行うコンピュータへ、
TCP/IP の組み込み
次ページへ
プリンタの IP アドレスなど必要事項の設定
2-8 ページへ
プリンタの IP アドレスなど必要事項の変更
（必要な場合のみ）
2-12 ページへ

TCP/IPの組み込み

プリンタのネットワーク設定を行うコンピュータへ、TCP/IPを組み込みます。

Windows95/98

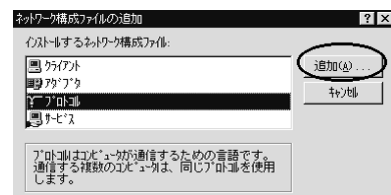
画面はWindows95です。

1　TCP/IPの確認

コントロールパネルにある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[ネットワークの設定]画面の[現在のネットワーク構成]に「TCP/IP」があることを確認します。

「TCP/IP」がある場合は**2-8ページ**へ、ない場合は手順2に進んでください。

2　TCP/IPの追加

①「TCP/IP」が組み込まれていない場合は、手順1の画面で[追加]ボタンをクリックして[プロトコル]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。

②[ネットワークプロトコルの選択]画面が表示されるので、製造元：Microsoft、ネットワークプロトコル：TCP/IPをクリックして[OK]ボタンをクリックします。この後は画面の指示にしたがってください。

③追加した「TCP/IP」をダブルクリックして「TCP/IPのプロパティ」を起動し、IPアドレスなどの必要事項を設定します。設定するIPアドレスなどは**付録「困ったときは」**を参照してください。

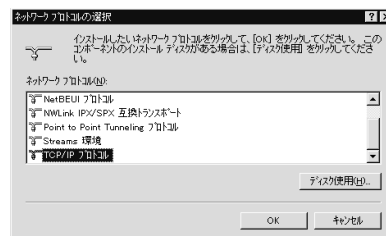
WindowsNT4.0

1 TCP/IPの確認

コントロールパネルで[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、「TCP/IPプロトコル」が組み込まれていることを確認します。

TCP/IPが組み込まれている場合は**2-8ページ**へ、組み込まれていない場合は手順2に進んでください。

2 TCP/IPの追加

①「TCP/IPプロトコル」が組み込まれていない場合は、手順1の画面で[追加]ボタンをクリックして、「TCP/IPプロトコル」を追加します。
この後は画面の指示に従ってください。

②TCP/IPプロトコルのインストールを継続すると、途中で「TCP/IPの構成」画面が開き、IPアドレスなどの必要事項を設定できます。設定するIPアドレスなどは**付録「困ったときは」**を参照してください。

③インストールが完了したらIPアドレスなどの必要な項目が正しく入力されていることを確認します。

WindowsNT3.51

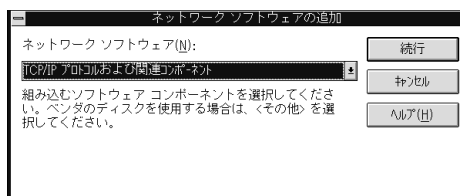
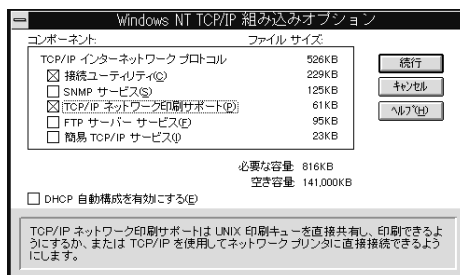
1 TCP/IPの確認

コントロールパネルで[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、「TCP/IPプロトコル」が組み込まれていることを確認します。

TCP/IPが組み込まれている場合は**2-8ページ**へ、組み込まれていない場合は手順2に進んでください。

「TCP/IPプロトコル」を確認

2 TCP/IPの追加

①TCP/IPが組み込まれていない場合は、手順1の画面で[ソフトウェアの追加]ボタンをクリックし、「TCP/IPプロトコルおよび関連コンポーネント」を選択します。

②「WindowsNT TCP/IP組み込みオプション」画面が表示されるので、「接続ユーティリティ」と「TCP/IPネットワーク印刷サポート」をチェックします。この後は画面の指示に従ってください。

③インストールが完了したらIPアドレスなどの必要な事項が正しく入力されていることを確認します。

Macintosh（Open Transport を使用する場合）

Open Transport とは MacOS のネットワーク環境モジュールです。Open Transport により、他の形態のネットワークを利用することができます。

1 AppleTalk の経由先確認

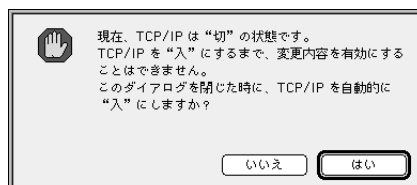
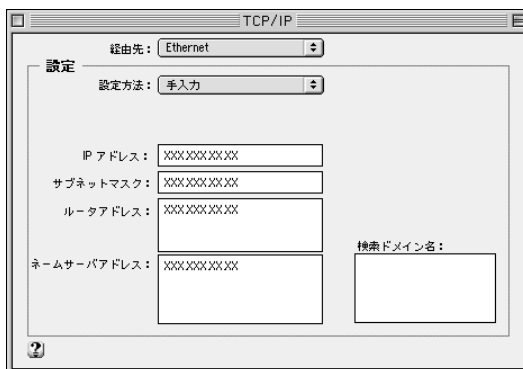
コントロールパネルで「AppleTalk」アイコンをダブルクリックし、経由先が「Ethernet」に設定されていることを確認します。

設定されている場合は**2-8 ページ**へ、設定されていない場合は手順 2 に進んでください。

2 アドレスの設定

①コントロールパネルの「TCP/IP」をダブルクリックします。このとき次の画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックしてください。

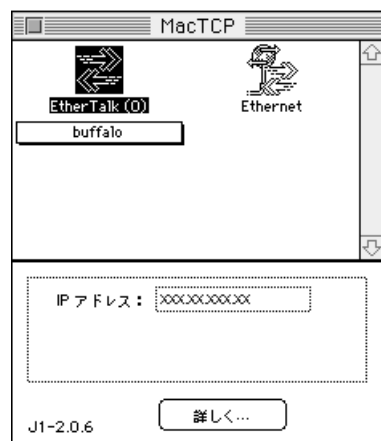
② IP アドレスなどの必要事項を設定します。
設定する IP アドレスなどは**付録「困ったときは」**を参照してください。

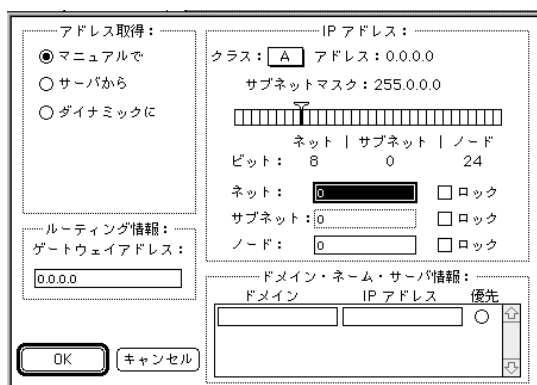
Macintosh（旧ネットワークソフトを使用する場合）

1 EtherTalkの確認

コントロールパネルの「ネットワーク」を起動して、「EtherTalk」を選択します。

2 IPアドレスの確認

コントロールパネルで「MacTCP」アイコンをダブルクリックし、IPアドレスが設定されていることを確認します。

設定されている場合は**2-8ページ**へ、設定されていない場合は[詳しく...]ボタンをクリックして、手順3に進んでください。

3 アドレスの設定

IPアドレスが設定されていない場合は、この画面で必要事項を設定してから、手順2の画面でIPアドレスを設定してください。設定するIPアドレスなどは**付録「困ったときは」**を参照してください。

IP アドレス設定

プリンタをネットワーク上で使用するために、プリンタの IP アドレスなど、必要事項を設定します。次のいずれかの方法で設定してください。

TCP/IP または NetWare をお使いの方は、同梱 CD-ROM 内のユーティリティ「MAP」を使う事もできます。9-4 ページを参照してください。

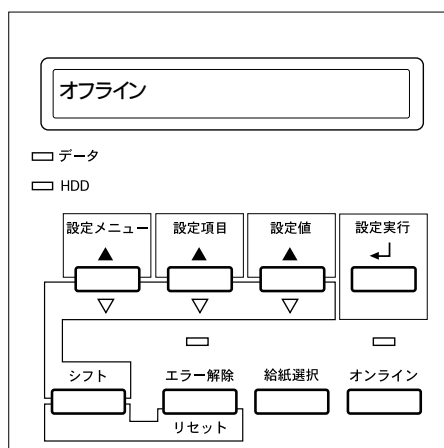
操作パネルから

プリンタの操作パネルから、ネットワークインターフェイスの IP アドレスを設定します。

1 **プリンタの起動**

プリンタの電源をオンにします。
[オンライン]スイッチを押すと、液晶ディスプレイに「オフライン」と表示されます。

2 **設定メニューの表示**

[設定メニュー]スイッチを5回押すと、
液晶ディスプレイに「ネットワークメニュー」と表示されます。

3 各アドレスの設定

[設定項目]スイッチを押して、次の3つを設定します。設定するアドレスについては、**付録「困ったときは」**を参照してください。

IPアドレスは、他のネットワーク機器や既に使用されているIPアドレスと重複しない値を入力してください。

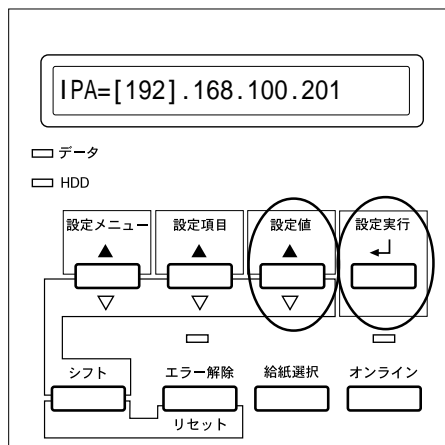
設定項目	設定内容
IPA	IPアドレスを設定します。
SNM	サブネットマスクを設定します。
GWA	デフォルトゲートウェイを設定します。 ゲートウェイになるサーバやルータがある場合に、 サーバやルータのアドレスを入力します。

アドレスの設定は、[設定値]スイッチを押して行います。[シフト]スイッチを押しながら[設定値]スイッチを押すと、設定値の表示が逆送りになります。

例）IPアドレス192.168.100.201を設定する場合

①「IPA=[0].0.0.0」と表示されたら、[設定値]スイッチを押して[192]を設定します。

②[設定実行]スイッチを押して[192]を確定します。

③①②を繰り返して、残りの168、100、201を設定します。
アドレスの右に*が表示されたら、設定は終了です。

[設定値]スイッチを押し続けると、値が10単位で切り替わります。

4 設定の保存

設定が終了したら、[設定実行]スイッチを押します。変更した設定値が有効になります。

[オンライン]スイッチを押すと液晶ディスプレイに「オンライン」と表示され、印刷可能状態になります。

**IPアドレスが何も設定されていない場合は、手順4で[オンライン]スイッチを押すとプリンタが自動的にリセットされます。
リセットされない場合は、プリンタの電源を再投入してください。**

arpコマンドによる設定

Windows95/98/NT、UNIXにTCP/IPが正常に組み込まれている場合は、arpコマンドによりIPアドレスを設定することもできます。

arpコマンドは、プリンタと同じセグメント内のホストでのみ実行できます。

プリンタのIPアドレスは、他のネットワーク機器や既に使用されているIPアドレスと重複しないようにしてください。

ここでは、ネットワークインターフェイスのIPアドレスを192.168.100.201（プライベートアドレス）に設定する場合の設定例を説明します。

1 デフォルトゲートウェイアドレスの設定

arpコマンドを入力するコンピュータに、デフォルトゲートウェイアドレスを設定します。設定については、下記のページをご覧ください。

Windows95/98　:**2-3ページ**
WindowsNT4.0　:**2-4ページ**
WindowsNT3.51　:**2-5ページ**

・ゲートウェイになるサーバやルータがある場合に、サーバやルータのアドレスを設定します。
・ゲートウェイがない場合は自分自身のコンピュータのIPアドレスをゲートウェイアドレスに設定します。

2 プリンタの起動

プリンタをネットワークに接続し、プリンタの電源をオンにします。

3 MS-DOSプロンプトの起動

「MS-DOSプロンプト」を起動します。

4 最寄りのコンピュータへのpingコマンド実行

最寄りの動作中コンピュータ、またはルータがあればそれらに対してpingコマンドを実行します。

書式）ping_IPアドレス（_は半角スペース）
例）　IPアドレス192.168.100.101のコンピュータがある場合
　　　>ping_192.168.100.101

pingコマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.101: bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます（timeの値は変動します）。

5 arp コマンド実行

arp コマンドを実行して、プリンタに設定する IP アドレスを、プリンタの MAC アドレスに関連付けます。使用する OS によってコマンドの記述が異なります。詳細はお使いの OS のマニュアルをご覧ください。

書式）arp_-s_プリンタに設定する IP アドレス_プリンタの MAC アドレス
（_は半角スペース）

例）　Windows の場合:
>arp_-s_192.168.100.201_00-00-48-93-00-00
UNIX の場合:
>arp_-s_192.168.100.201_0:0:48:93:0:0
（MAC アドレスの各数字の先頭にある 0 は取り除いてください）

MAC アドレスは、ステータスページ（付録 -2 ページ)にある「Network Address」欄で確認できます。

このコマンドにより IP アドレスの情報が送られて、プリンタが IP アドレスを認識します。

6 プリンタのリセット

プリンタの電源を一度切ってから再投入してください。ステータスページが印刷されます。入力した IP アドレスが記載されていることを確認してください。

7 プリンタへの ping コマンド実行

プリンタが起動したら、MS-DOS プロンプトで ping コマンドを入力します。

書式）ping_プリンタの IP アドレス（_は半角スペース）

例）　ping_192.168.100.201

ping コマンドが成功すると、「Reply From 192.168.100.201: bytes=32 time<10msTTL=255」というメッセージが表示されます（time の値は変動します）。ここで表示された IP アドレスが 192.168.100.201 であることを確認します。

**arp コマンドで IP アドレスを設定する場合、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイは変更できません。
変更する場合は、操作パネル（2-9 ページ）、Web ブラウザユーティリティ（2-13 ページ）または Telnet（9-8 ページ）を使用してください。**

IP アドレス変更

このページは、プリンタの IP アドレスや、その他アドレスを変更する必要があるときだけご覧ください。

一度設定したプリンタの IP アドレスを変更する場合は、操作パネルのほかに、Web ブラウザユーティリティや Telnet（**9-8 ページ**）から簡単に行うことができます。

Web ブラウザユーティリティからの設定

Web ブラウザユーティリティ使用時の注意

- **Web ブラウザユーティリティは、プリンタに内蔵しているプログラムです。プリンタの IP アドレスを設定後、使用可能になります。**
- **お使いのコンピュータに Web ブラウザをインストールしておいてください。**
- **Web ブラウザユーティリティでの設定が終了するまで、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。**

1 プリンタの起動

プリンタの電源をオンにします。

2 Web ブラウザユーティリティの起動

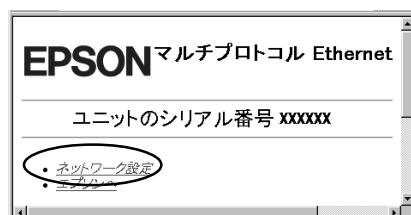
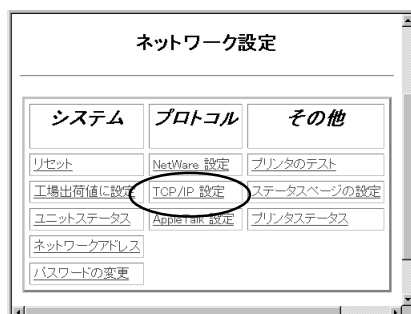
Web ブラウザを起動して、次の書式で URL を入力し、[Enter]キーを押します。

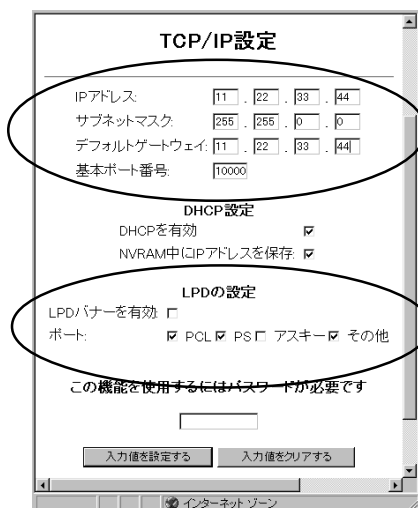
書式）http:// プリンタの IP アドレス /

例）　http://192.168.100.201/

Web ブラウザユーティリティは、MAP からも起動できます。MAP については 9-4 ページをご覧ください。

3 TCP/IP 設定画面の起動

①次の画面が表示されますので、「ネットワーク設定」をクリックします。

②メニュー「プロトコル」にある「TCP/IP 設定」をクリックします。

4 各アドレスの設定

IP アドレスなどの必要事項を設定します。設定するアドレスについては、**付録「困ったときは」**を参照してください。

設定項目	設定内容
IPアドレス	IPアドレスを設定します。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイを設定します。
基本ポート番号	通常は変更しないでください。変更する場合はネットワーク管理者に相談してください。 初期値は10000です。

5 LPDの設定（LPDをお使いの方のみ）

同じ画面で、LPDの情報が設定できます。

設定項目	設定内容
LPDバナーを有効	バナー印刷をする場合は、クリックしてチェックマークを付けます。
ポート	**この設定は変更しないでください。**

6 設定の保存

①設定が終了したら、パスワード入力欄にパスワード（初期値はsysadm）を入力して、[入力値を設定する]ボタンをクリックします。
「更新に成功しました」と表示されたら設定は終了です。このメッセージが表示されるまで、Webブラウザを終了しないでください。

パスワードの設定方法は、9-2ページ(Webブラウザユーティリティ)または9-10ページ(Telnet)をご覧ください。

②設定が終了したら、プリンタをリセットしてください。
Webブラウザユーティリティ「ネットワーク設定」画面にある「システム」メニューの「リセット」で行うか、プリンタの電源を再投入すると、リセットできます。

これで、TCP/IPの設定は終了です。
続いてお使いのネットワークOSの章へ進み、各環境でプリンタを使用するための設定をしてください。

3 NetWare の設定

プリンタをNetWareで使用する場合の、NetWareユーティリティからのプリンタ環境設定と、Webブラウザユーティリティからのネットワーク設定について説明します。

概要

対応システム

サーバ環境

・NetWare3.1xJ

・NetWare4.1xJ、IntranetWare-J（NDS、バインダリエミュレーション）

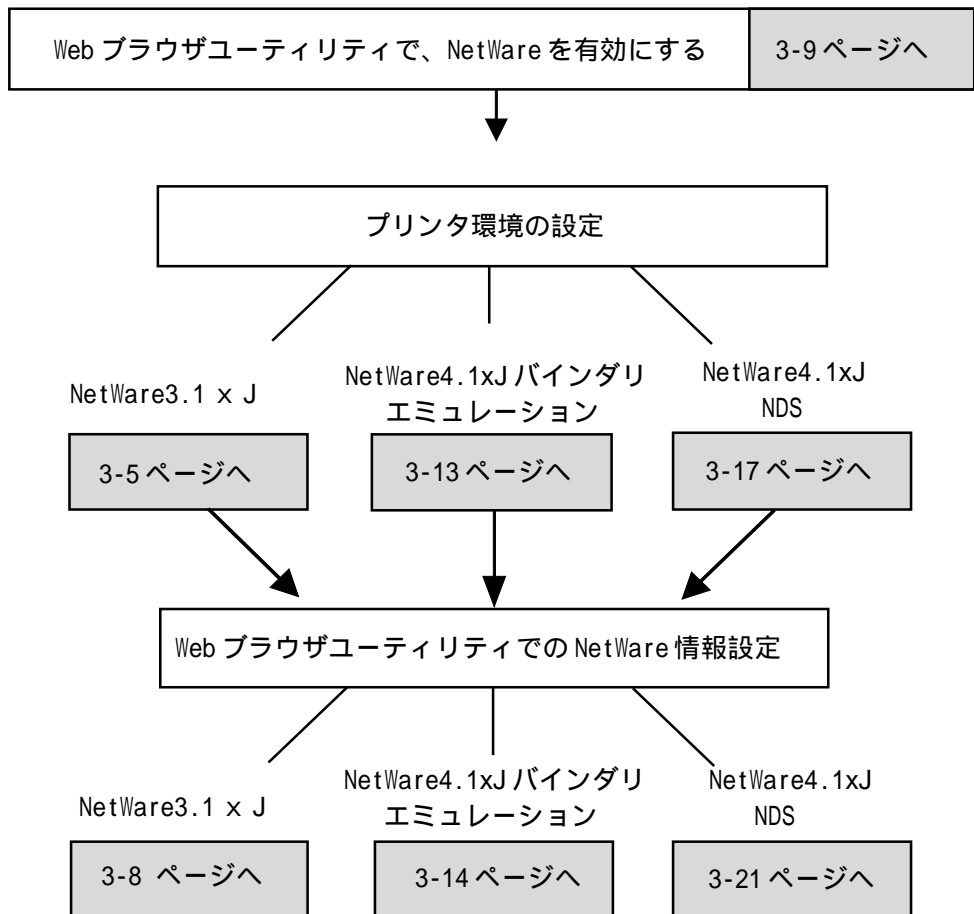
このプリンタはプリントサーバモードで使用できます。リモートプリンタモードには対応していません。

クライアント環境

・ NetWareがサポートしているクライアント環境

・ LP-9200PS3のプリンタドライバがインストール済みであること

作業の流れ

Web ブラウザユーティリティで、NetWare を有効にする
3-9 ページへ
プリンタ環境の設定
NetWare3.1 x J
NetWare4.1xJ バインダリ
エミュレーション
NetWare4.1xJ
NDS
3-5 ページへ
3-13 ページへ
3-17 ページへ
Web ブラウザユーティリティでの NetWare 情報設定
NetWare3.1 x J
NetWare4.1xJ バインダリ
エミュレーション
NetWare4.1xJ
NDS
3-8 ページへ
3-14 ページへ
3-21 ページへ

NetWare3.1xJ での印刷

使用上の注意

複数のファイルサーバへのプリントサーバ設定

2つ以上のファイルサーバのプリントサーバを設定する場合は、各ファイルサーバごとに、3-5ページ～3-10ページの設定を行います。
この時、次の3つはすべてのファイルサーバで同じものを設定してください。

・　プリントサーバの名前（Webブラウザユーティリティで）

・　ファイルサーバのパスワード（PCONSOLEで）

・　プリンタのパスワード（Webブラウザユーティリティで）

複数のファイルサーバの検索

プライマリファイルサーバが未設定の場合、LP-9200PS3の電源を入れると、ホップが4つ以下で、電波遅延が8ティック以下のファイルサーバが自動的に検索され接続されます。この範囲外のファイルサーバにLP-9200PS3を接続したい場合や、必要なホップ内のみ検索して起動時間を短縮したい場合は、プライマリサーバにログインした後、PCONSOLEで次のように設定します。

①　プライマリファイルサーバにログインします。プライマリファイルサーバは、ホップ4以下で電波遅延8ティック以下の中でも、できるだけプリントサーバに近いものを使ってください。

②　「利用可能な項目」-「プリントサーバ情報」-「プリントサーバ構成」-「使用されているファイルサーバ」で、接続したいファイルサーバを入力します。プリントサーバは、ここで指定したファイルサーバに直接接続します。

ダイヤルアップネットワーク使用時の注意

NetWareのWANでダイヤルアップルータを使用し、ISDNなどの一般公衆回線をご利用の場合は、余分な回線使用料を回避するため、ダイヤルアップルータ側で、プリンタが発信するパケットを、プリンタのMACアドレスでマスクします。
ルータ側のマスクの詳細については、ネットワーク管理者に相談してください。

MACアドレスは、ステータスページ（付録-2ページ）にある「Network Address」欄で確認できます。

プリンタ環境設定

まず、NetWareのユーティリティPCONSOLEから、プリンタ環境を設定します。

1 プリンタの起動

プリンタの電源をオンにします。

2 サーバへのログイン

設定するNetWareサーバに、クライアントから「SUPERVISOR」でログインします。

3 プリントキューの登録

①PCONSOLEを起動し、「利用可能な項目」から「プリントキュー情報」を選択します。
②[Insert]キーを押して「新プリントキュー名」欄にプリントキュー名を入力します。

利用可能な項目
ファイルサーバの変更
プリントキュー情報
プリントサーバ情報

設定したプリントキューは、クライアントがネットワークプリンタをインストールする際の接続先になります。プリントキュー名をクライアントに知らせておいてください。

4 キューユーザの登録

「プリントキュー」リストから作成したプリントキューを選択すると「プリントキュー情報」メニューが表示されますので、「キューユーザ」を選択して、「EVERYONE」が登録されていることを確認します。EVERYONEがない場合は、[Insert]キーを押して、キューユーザリストから「EVERYONE」を選択します。

5 プリントサーバの登録

①「利用可能な項目」から「プリントサーバ情報」を選択します。
②[Insert]キーを押して、「新プリントサーバ名」欄に任意のプリントサーバ名を入力します。このプリントサーバ名は後で使用するのでメモしておいてください。

利用可能な項目
ファイルサーバの変更
プリントキュー情報
プリントサーバ情報

プリンタの「プリントサーバ名」の初期値は「PSD_ネットワークインターフェイスのシリアル番号」です。シリアル番号は、ネットワークインターフェイスのステータスページ（付録-2ページ）にある「Unit Serial No」欄で確認します。

6 プリンタの構成

①「プリントサーバ」リストから作成したプリントサーバを選択すると「プリントサーバ情報」メニューが表示されますので、「プリントサーバ構成」を選択します。

プリントサーバ情報
パスワードの変更
フルネーム
プリントサーバ構成
プリントサーバID
プリントサーバオペレータ
プリントサーバユーザ

②「プリントサーバ構成メニュー」から「プリンタの構成」を選択します。

プリントサーバ構成メニュー
使用されているファイルサーバ
プリンタ通知リスト
プリンタでサービスされているキュー
プリンタの構成

③「構成完了プリンタ」の最上段「インストールされていません」(プリンタ番号=0)を選択します。

構成完了プリンタ	
インストールされていません	0
インストールされていません	1
インストールされていません	2

④次のように設定します。

「タイプ」にカーソルを移動して[Enter]キーを押すと、「プリンタタイプ」の一覧が表示されますので、「リモートパラレル ,LPT1」を選択してください。

プリンタ 0 の構成
名前：Printer-0　………任意のプリンタ名を入力
タイプ：リモートパラレル ,LPT1‥‥一覧から選択
社別識別子：
IRQ：
バッファサイズ（K バイト):
開始用紙：
キューサービスモード：
ボーレート：
データビット：
ストップビット：
パリティ：
X-On ／ X-Off 使用有無

⑤[Esc]キーを押して、変更内容を保存します。

7 プリンタとキューの関連付け

2つのプリントサーバに同じキューを割り当てないでください。プリントジョブが正しく送られない可能性があります。

①「プリントサーバ構成メニュー」から「プリンタでサービスされているキュー」を選択します。
②「定義済みのプリンタ」リストからプリンタを選択します。
③[Insert]キーを押して、「使用可能キュー」リストから**3-5ページ**で登録したキューを選択してください。

プリントサーバ構成メニュー
使用されているファイルサーバ
プリンタ通知リスト
プリンタでサービスされているキュー
プリンタの構成

④「優先順位」を指定します（1から10までの数値を指定します。1が最優先です）。

8 PCONSOLEの終了

[Esc]キーを押して、PCONSOLEを終了します。

NetWareの設定

NetWareの設定

PCONSOLEでの設定が終わったら、Webブラウザユーティリティから NetWareの情報を設定します。

Webブラウザユーティリティ使用時の注意

- **Webブラウザユーティリティは、プリンタに内蔵しているプログラムです。プリンタのIPアドレスを設定後、使用可能になります。**
- **お使いのコンピュータにWebブラウザをインストールしておいてください。**
- **Webブラウザユーティリティでの設定が終了するまで、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。**

1 プリンタの起動

プリンタの電源をオンにします。

2 Webブラウザユーティリティの起動

Webブラウザを起動して、次の書式でURLを入力し、[Enter]キーを押します。
書式）http://プリンタのIPアドレス/
例）　http://192.168.100.201/

Webブラウザユーティリティは、MAPからも起動できます。MAPについては、9-4ページをご覧ください。

3 NetWare設定画面の起動

①次の画面が表示されますので、「ネットワーク設定」をクリックします。

②「NetWare設定」をクリックします。

4 NetWareの設定

NetWareの情報を設定します。

設定項目	設定内容
NetWareを有効	クリックして、チェックマークを付けます。 **NetWareを使用しない場合は、チェックマークを付けないでください。** Telnetからも設定できます。
プリントサーバ名	プリントサーバ名を半角英数字で設定します。 PCONSOLEで設定した名前が表示されます。初期値は「PSD_ネットワークインターフェイスのシリアル番号」です。 これは、ピア・ツー・ピアモードにおけるプリンタの名前にもなっています。
プリントサーバパスワード	ここでパスワードを設定しておくと、ネットワークインターフェイスへのログインを、パスワードで保護することができます。 PCONSOLEでパスワードを設定してある場合は、ここでも同じパスワードを設定してください。
パスワードの再入力	プリントサーバパスワードを再入力します。
プライマリファイルサーバ	キューを設定したファイルサーバ名を入力します。

ダイヤルアップルータをご使用の方へ
「プライマリファイルサーバ」への設定は必ず行ってください。未設定にしておくと、ネットワーク内のすべてのファイルサーバに対して、不必要なダイヤルアップが発生します。

優先NDS コンテキスト	この欄には何も入力しないでください。
優先NDSツリー	この欄には何も入力しないでください。
プリントキューの スキャン間隔	プリントサーバがキューをスキャンする間隔（秒）を設定します。1～127の値が設定できます。 **ネットワークのトラフィックに応じて、値を変更してください。**
イーサネット フレームタイプ	優先フレームタイプを選択します。ネットワーク内でNetWare用のフレームタイプが複数使用されている場合に使います。 自動探知/802.3/Ethernet Ⅱ/802.3 SNAP/802.2があります。
バインダリを無効	この欄にはチェックを付けないでください。

5

設定の保存

①設定が終了したら、パスワード入力欄にパスワード（初期値は sysadm）を入力して、[入力値を設定する]ボタンをクリックします。
「更新に成功しました」と表示されたら設定は終了です。このメッセージが表示されるまで、Web ブラウザを終了しないでください。

パスワードの設定については、9-2 ページをご覧ください。

②設定を有効にするため、プリンタをリセットしてください。
Web ブラウザユーティリティの「ネットワーク設定」画面にある「システム」メニューの「リセット」で行うか、プリンタの電源を再投入すると、リセットできます。

NetWare4.1xJ での印刷 - バインダリエミュレーション

NetWare4.1xJ では、NDS モードまたはバインダリエミュレーションモードで使用できます。
ここでは、バインダリエミュレーションを使う場合の設定について説明します。

使用上の注意

バインダリと NDS に関する注意

- NDS 非対応のクライアント（バインダリ対応）から、ネットワークプリンタに印刷する場合、プリント関連の各オブジェクト（プリンタ、プリントサーバ、プリントキュー）を、ディレクトリツリー内のバインダリコンテキスト直下に作成する必要があります。
- バインダリコンテキスト・パスは、サーバ･コンソールから SET BINDERY CONTEXT コマンドで確認できます。
- バインダリコンテキスト・パスが設定されていない場合や、NDS 非対応のクライアントから、別のコンテキストの印刷環境も使用したい場合には、そのコンテキストをバインダリコンテキストに指定する必要があります。AUTOEXEC.NCF ファイル内に、SET BINDERY CONTEXT コマンドで設定します。
  詳しくは、NetWare4.1xJ のマニュアルをご覧ください。

複数のファイルサーバへのプリントサーバ設定

2 つ以上のファイルサーバのプリントサーバを設定する場合は、各ファイルサーバごとに、3-13 ページ～ 3-16 ページの設定を行います。
この時、次の 3 つはすべてのファイルサーバで同じものを設定してください。

- プリントサーバの名前（Web ブラウザユーティリティで）
- ファイルサーバのパスワード（PCONSOLE で）
- プリンタのパスワード（Web ブラウザユーティリティで）

複数のファイルサーバの検索

プライマリファイルサーバが未設定の場合、LP-9200PS3の電源を入れると、ホップが4つ以下で、電波遅延が8ティック以下のファイルサーバが自動的に検索され、接続されます。この範囲外のファイルサーバにLP-9200PS3を接続したい場合や、必要なホップ内のみ検索して起動時間を短縮したい場合は、プライマリサーバにログインした後、PCONSOLEで次のように設定します。

① プライマリファイルサーバにログインします。プライマリファイルサーバは、ホップ4以下で電波遅延8ティック以下の中でも、できるだけプリントサーバに近いものを使ってください。

② 「利用可能な項目」-「プリントサーバ」で、接続したいファイルサーバを入力します。
プリントサーバは、ここで指定したファイルサーバに直接接続します。

ダイヤルアップネットワーク使用時の注意

NetWareのWANでダイヤルアップルータを使用し、ISDNなどの一般公衆回線をご利用の場合は、余分な回線使用料を回避するため、ダイヤルアップルータ側で、ネットワークインターフェイスが発進するパケットを、プリンタのMACアドレスでマスクします。
ルータ側のマスクの詳細については、ネットワーク管理者に相談してください。

MACアドレスは、ステータスページ（付録-2ページ）にある「Network Address」欄で確認できます。

プリンタ環境設定

まず、NetWareのユーティリティPCONSOLEから、プリンタ環境を設定します。

通常の手順はNetWare3.1xJと同じです。**3-5ページ〜3-7ページ**を参照してください。

または、次のようにクイックセットアップから設定することもできます。

1 プリンタの起動

プリンタの電源をオンにします。

2 サーバへのログイン

設定するNetWareサーバに、クライアントから「SUPERVISOR」でログインします。この時、必ずバインダリ接続でログインしてください。

3 PCONSOLEの起動

PCONSOLEを起動し、「利用可能な項目」から「クイックセットアップ」を選択します。

利用可能な項目
プリントキュー
プリンタ
プリントサーバ
クイックセットアップ
コンテキストの変更

4 プリンタ環境の設定

「プリントサーバ」、「新しいプリンタ」、「新しいプリントキュー」を入力して保存します。

「プリンタタイプ」では「その他/不明」を選択して[Enter]を押してください。

プリントサービスクイックセットアップ	
プリントサーバ：	PSD_XXXXXX
新しいプリンタ：	P1
新しいプリントキュー：	Q1
バナータイプ：	テキスト
プリンタタイプ：	その他/不明

5 PCONSOLEの終了

[Esc]キーを押して、PCONSOLEを終了します。

NetWareの設定

PCONSOLEでの設定が終わったら、Webブラウザユーティリティから、NetWareの情報を設定します。

Webブラウザユーティリティ使用時の注意

- **Webブラウザユーティリティは、プリンタに内蔵しているプログラムです。プリンタにIPアドレスを設定後、使用可能になります。**
- **お使いのコンピュータにWebブラウザをインストールしておいてください。**
- **Webブラウザユーティリティでの設定が終了するまで、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。**

1 プリンタの起動

プリンタの電源をオンにします。

2 Webブラウザユーティリティの起動

Webブラウザを起動して、次の書式でURLを入力し、[Enter]キーを押します。
書式）http://プリンタのIPアドレス/
例）　http://192.168.100.201/

Webブラウザユーティリティは、MAPからも起動できます。MAPについては、9-4ページをご覧ください。

3 NetWare設定画面の起動

①次の画面が表示されますので、「ネットワーク設定」をクリックします。

②メニュー「プロトコル」にある「NetWare設定」をクリックします。

4 NetWareの設定

NetWareの情報を設定します。

設定項目	設定内容
NetWareを有効	クリックして、チェックマークを付けます。 **NetWareを使用しない場合は、チェックマークを付けないでください。** Telnetからも設定できます。
プリントサーバ名	プリントサーバ名を半角英数字で設定します。 PCONSOLEで設定した名前が表示されます。初期値は「PSD_ネットワークインターフェイスのシリアル番号」です。 これは、ピア・ツー・ピアモードにおけるプリンタの名前にもなっています。
プリントサーバ パスワード	ここでパスワードを設定しておくと、ネットワークインターフェイスへのログインを、パスワードで保護することができます。 PCONSOLEでパスワードを設定してある場合は、ここでも同じパスワードを設定してください。
パスワードの 再入力	プリントサーバパスワードを再入力します。
プライマリファイルサーバ	キューを設定したファイルサーバ名を入力します。

ダイヤルアップルータをご使用の方へ
「プライマリファイルサーバ」には、必ずファイルサーバを設定してください。未設定にしておくと、ネットワーク内のすべてのファイルサーバに対して、不必要なダイヤルアップが発生します。

優先NDS コンテキスト	AUTOEXEC.NCFファイルで指定したバインダリコンテキスト・パスを入力します。 必ずコンテキスト全体を入力してください。また、コンテキストのパスはピリオド（.）で始めないでください。 書式）ou=部門名1（.ou=部門名2）.o=組織名 例）　ou=Sales.o=epson
優先NDSツリー	この欄には何も入力しないでください。
プリントキューの スキャン間隔	プリントサーバがキューをスキャンする間隔（秒）を設定します。1～127の値が設定できます。 **ネットワークのトラフィックに応じて、値を変更してください。**
イーサネット フレームタイプ	優先フレームタイプを選択します。ネットワーク内でNetWare用のフレームタイプが複数使用されている場合に使います。 自動探知/802.3/Ethernet Ⅱ/802.3 SNAP/802.2があります。
バインダリを無効	この欄にはチェックを付けないでください。

5 設定の保存

①設定が終了したら、パスワード入力欄にパスワード（初期値はsysadm）を入力して、[入力値を設定する]ボタンをクリックします。
「更新に成功しました」と表示されたら設定は終了です。このメッセージが表示されるまで、Webブラウザを終了しないでください。

パスワードの設定については、9-2ページをご覧ください。

②設定を有効にするため、プリンタをリセットしてください。
Webブラウザユーティリティの「ネットワーク設定」画面にある「システム」メニューの「リセット」で行うか、プリンタの電源を再投入すると、リセットできます。

NetWare4.1xJ での印刷 -NDS

NetWare4.1xJ では、NDS モードまたはバインダリエミュレーションモードで使用できます。
ここでは、NDS を使う場合の設定について説明します。

使用上の注意

ダイヤルアップネットワーク使用時の注意

NetWare の WAN でダイヤルアップルータを使用し、ISDN などの一般公衆回線をご利用の場合は、余分な回線使用料を回避するため、ダイヤルアップルータ側で、プリンタが発信するパケットを、プリンタの MAC アドレスでマスクします。
ルータ側のマスクの詳細については、ネットワーク管理者に相談してください。

MAC アドレスは、ステータスページ（付録 -2 ページ）にある「Network Address」欄で確認できます。

プリンタ環境設定

まず、NetWare のユーティリティ NWADMIN から、プリンタ環境を設定します。

1 **プリンタの起動**

プリンタの電源をオンにします。

2 **サーバへのログイン**

設定するサーバに、クライアントから「ADMIN」でログインします。

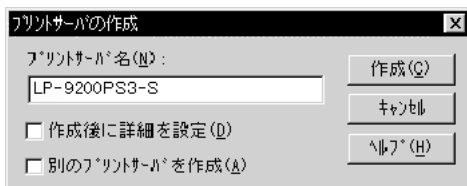
3 **アドミニストレータ・ツール（NWADMIN）の起動**

NWADMIN を起動します。

4 プリンタの作成

プリントサービスを作成したいディレクトリコンテキストのアイコンをマウスで選択し、「オブジェクト」→「作成」→「プリンタ」を選択します。
プリンタ名を入力して［作成］ボタンをクリックします。

5 プリントサーバの作成

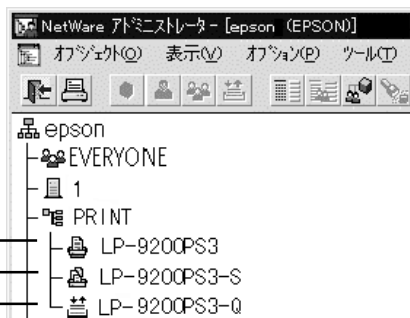
ディレクトリコンテキストのアイコンをマウスで選択し、「オブジェクト」→「作成」→「プリントサーバ」を選択します。プリントサーバ名を入力して［作成］ボタンをクリックします。

6 プリントキューの作成

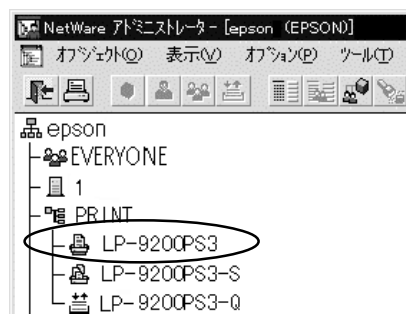
ディレクトリコンテキストのアイコンをマウスで選択し、「オブジェクト」→「作成」→「プリントキュー」を選択します。プリントキュー名を入力して［作成］ボタンをクリックします。

プリントキューを置くボリュームを指定
（ディレクトリコンテキスト内のボリュームを選択）

設定したプリントキューは、クライアントがネットワークプリンタをインストールする際の接続先になります。プリントキュー名をクライアントに知らせておいてください。

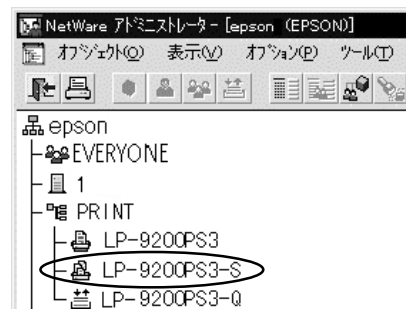
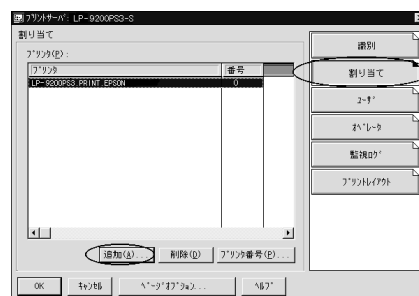
7 オブジェクトの確認

作成したオブジェクトが、ディレクトリコンテキストに追加されます。

8 プリントキューの割り当て

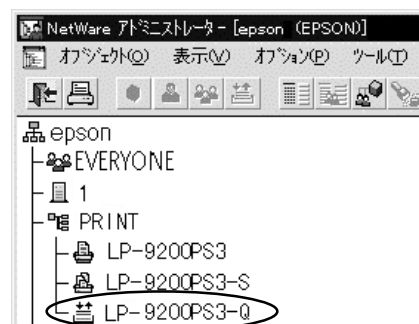
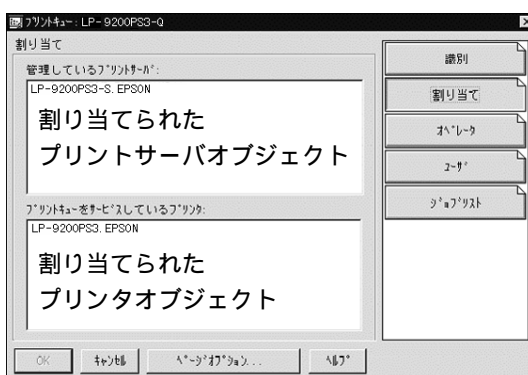
①NetWareアドミニストレータ画面でプリンタオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

②[割り当て]をクリックし、[追加]ボタンをクリックします。

③プリントキューの一覧が表示されるので、手順6で作成したキューを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

9 プリンタの割り当て

①NetWareアドミニストレータ画面でプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

②［割り当て］をクリックし、［追加］ボタンをクリックします。

③プリンタオブジェクトの一覧が表示されるので、手順4で作成したプリンタオブジェクトを選択し［OK］ボタンをクリックします。

10 割り当てたオブジェクトの確認

①NetWareアドミニストレータ画面でプリントキューオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

②[割り当て］をクリックします。プリントサーバとプリンタが割り当てられていることを確認してください。

詳しくはNetWare4.1xJのマニュアルをご覧ください。

NetWare の設定

NWADMINでの設定が終わったら、Webブラウザユーティリティから、NetWareの情報を設定します。

Webブラウザユーティリティ使用時の注意

- **Webブラウザユーティリティは、プリンタに内蔵しているプログラムです。プリンタにIPアドレスを設定後、使用可能になります。**
- **お使いのコンピュータにWebブラウザをインストールしておいてください。**
- **Webブラウザユーティリティでの設定が終了するまで、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。**

1 プリンタの起動

プリンタの電源をオンにします。

2 Webブラウザユーティリティの起動

Webブラウザを起動して、次の書式でURLを入力し、[Enter]キーを押します。
書式）http://プリンタのIPアドレス/
例）　http://192.168.100.201/

Webブラウザユーティリティは、MAPからも起動できます。MAPについては、9-4ページをご覧ください。

3 NetWare設定画面の起動

①次の画面が表示されますので、「ネットワーク設定」をクリックします。

②メニュー「プロトコル」にある「NetWare設定」をクリックします。

NetWare の設定

4　NetWareの設定

NetWareの情報を設定します。

設定項目	設定内容
NetWareを有効	クリックして、チェックマークを付けます。 **NetWareを使用しない場合は、チェックマークを付けないでください。** Telnetからも設定できます。
プリントサーバ名	プリントサーバ名を半角英数字で設定します。 NWADMINで設定した名前と同じものを設定してください。初期値は「PSD_ネットワークインターフェイスのシリアル番号」です。 これは、ピア・ツー・ピアモードにおけるプリンタの名前にもなっています。
プリントサーバパスワード	ここでパスワードを設定しておくと、ネットワークインターフェイスへのログインを、パスワードで保護することができます。 NWADMINでパスワードを設定してある場合は、ここでも同じパスワードを設定してください。
パスワードの再入力	プリントサーバパスワードを再入力します。
プライマリファイルサーバ	この欄には何も入力しないでください。

優先NDS コンテキスト	NWADMINを参照して、NDSコンテキストを半角英数字127字以内で入力します。 入力する場合は必ずコンテキスト全体を入力してください。また、コンテキストのパスはピリオド（.）で始めないでください。 書式）ou=部門名1（.ou=部門名2）.o=組織名 例）　ou=PRINT.o=epson
優先NDSツリー	NWADMINを参照して、NDSツリー名を半角英数字48字以内で入力します。
プリントキューの スキャン間隔	プリントサーバがキューをスキャンする間隔（秒）を設定します。1～127の値が設定できます。 **ネットワークのトラフィックに応じて、値を変更してください。**
イーサネット フレームタイプ	優先フレームタイプを選択します。ネットワーク内でNetWare用のフレームタイプが複数使用されている場合に使います。 自動探知/802.3/Ethernet Ⅱ/802.3 SNAP/802.2があります。
バインダリを無効	この欄をクリックしてチェックマークを入れると、プリントサーバでのバインダリモードを無効にできます。NDSモードでのみ使用する場合は、この欄をチェックしてください。 バインダリを無効にすると、バインダリファイルサーバ上のプリントサーバを、ネットワークインターフェイスでサポートできなくなります。

5 設定の保存

①設定が終了したら、パスワード入力欄にパスワード（初期値はsysadm）を入力して、[入力値を設定する]ボタンをクリックします。

「更新に成功しました」と表示されたら設定は終了です。このメッセージが表示されるまで、Webブラウザを終了しないでください。

パスワードの設定については、9-2ページをご覧ください。

②設定を有効にするため、プリンタをリセットしてください。

Webブラウザユーティリティの「ネットワーク設定」画面にある「システム」メニューの「リセット」で行うか、プリンタの電源を再投入すると、リセットできます。

NetWareの設定

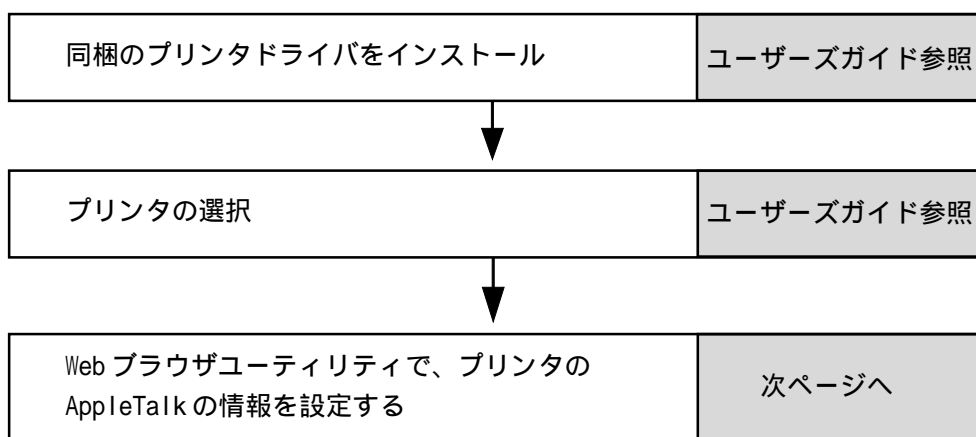
4 Macintoshの設定

プリンタをMacintoshで使う場合の、Webブラウザユーティリティからの AppleTalk 設定について説明します。

概要

対応システム

- Macintosh OS
  漢字Talk7.1/7.5.x
  MacOS 7.6.x/8.x
- AppleTalk

作業の流れ

プリンタ名を設定するときは、PSユーティリティをお使いください。ユーザーズガイドを参照してください。

AppleTalk の設定

Webブラウザユーティリティから設定することができます。

Webブラウザユーティリティ使用時の注意

- **Webブラウザユーティリティは、プリンタに内蔵しているプログラムです。プリンタにIPアドレスを設定後、使用可能になります。**
- **お使いのコンピュータにWebブラウザをインストールしておいてください。**
- **Webブラウザユーティリティでの設定が終了するまで、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。**

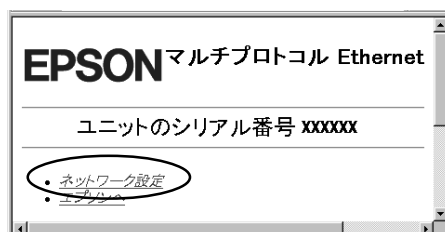
1 プリンタの起動

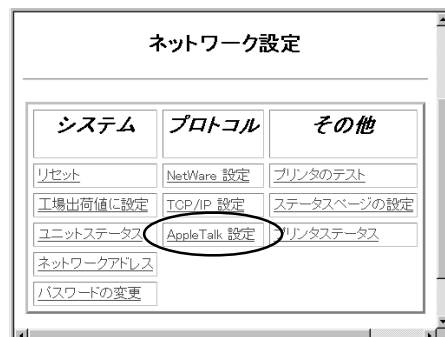
プリンタの電源をオンにします。

2 Webブラウザユーティリティの起動

Webブラウザを起動して、次の書式でURLを入力し、[Enter]キーを押します。
書式）http://プリンタのIPアドレス/
例）　http://192.168.100.201/

3 AppleTalk設定画面の起動

①次の画面が表示されますので、「ネットワーク設定」をクリックします。

②「AppleTalk設定」をクリックします。

Macintoshの設定

4 AppleTalkの設定

AppleTalkの情報を設定します。

設定項目	設定内容
AppleTalkを有効	クリックして、チェックマークを付けます。 （初期設定では有効になっています）
プリンタ名	セレクタで設定したプリンタ名が表示されます。
ゾーン名称	ゾーン名が表示されます。

プリンタのゾーン名、プリンタ名を設定するには、PSユーティリティをお使いください。ユーザーズガイドを参照してください。

5 設定の保存

①設定が終了したら、パスワード入力欄にパスワード（初期値はsysadm）を入力して、[入力値を設定する]ボタンをクリックします。
「更新に成功しました」と表示されたら設定は終了です。このメッセージが表示されるまで、Webブラウザを終了しないでください。

パスワードの設定については、9-2ページをご覧ください。

②設定を有効にするため、プリンタをリセットしてください。
Webブラウザユーティリティの「ネットワーク設定」画面にある「システム」メニューの「リセット」で行うか、プリンタの電源を再投入すると、リセットできます。

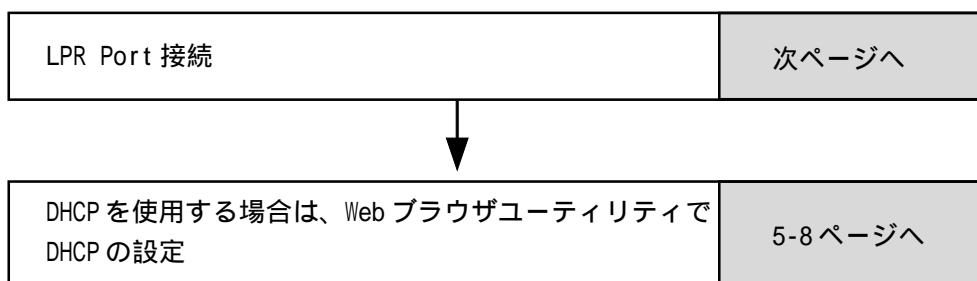
5 WindowsNTの設定

プリンタをWindowsNTで使う場合の、OS側の設定とWebブラウザユーティリティでの設定方法を説明します。

概要

対応システム

- OS
  WindowsNT 3.51以上
- プロトコル
  TCP/IP印刷（LPR Port、DHCP）
  WindowsNT Server/WorkstationにLPRをインストールしてプリンタを共有すると、LPRキューがインストールされていない他のワークステーションも、Microsoft Windows Networkを通じてプリンタを使用できます。

作業の流れ

LPR Port での印刷

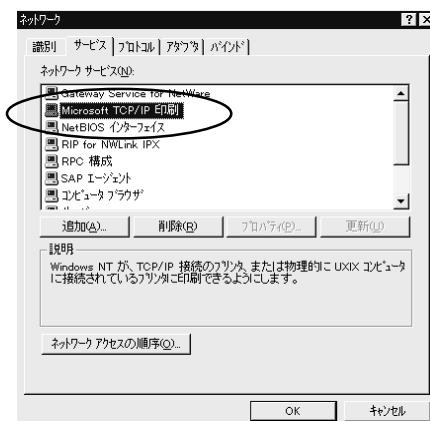
LPR Port 接続（WindowsNT4.0）

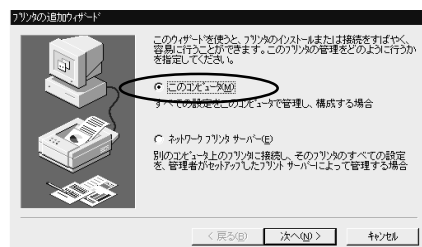
1 **プリンタの起動**

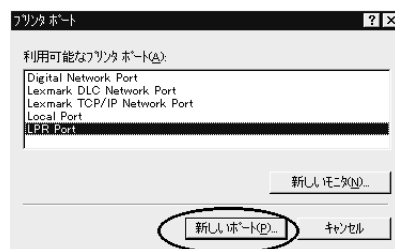
プリンタの電源をオンにします。

2 **ネットワークサービスの確認**

コントロールパネルの「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして、「サービス」画面に「Microsoft TCP/IP 印刷」があることを確認します。

ない場合は、[追加]ボタンをクリックして追加します。
画面の指示に従ってください。

3 **プリンタを LPR Port で接続**

①プリンタを登録します。
「マイコンピュータ」内の[プリンタ]フォルダを開き、[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックします。
「プリンタの追加ウィザード」画面で「このコンピュータ」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

②[ポートの追加]ボタンをクリックします。

③右の画面が表示されるので、「LPR Port」を選択し、[新しいポート]ボタンをクリックします。

④「LPR 互換プリンタの追加」画面が表示されます。プリンタの IP アドレスとプリンタ名(**半角英数字の大文字で「PORT1」**と入力してください）を入力し、[OK] ボタンをクリックします。あとは画面の指示に従ってプリンタドライバをインストールしてください。

設定したプリンタ名は、クライアントがネットワークプリンタをインストールする際の接続先になります。プリンタ名をクライアントに知らせておいてください。

LPR Port 接続（WindowsNT3.51）

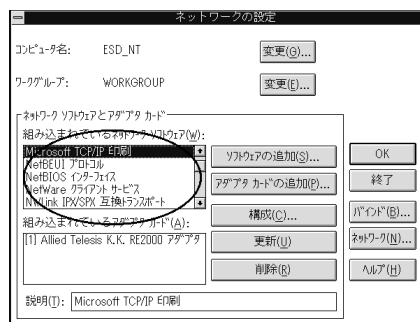
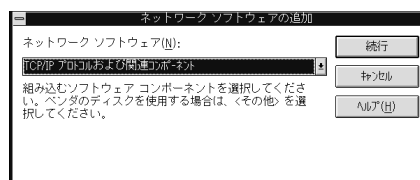
1 プリンタの起動

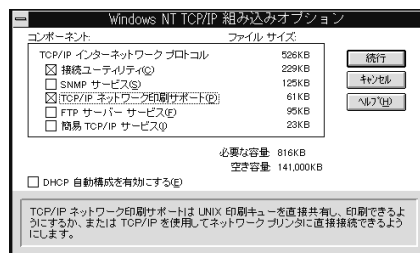
プリンタの電源をオンにします。

2 プリンタドライバのインストール

ユーザーズガイドを参照して、プリンタドライバをインストールします。

3 ネットワークソフトウェアの確認

①コントロールパネル内の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして、「Microsoft TCP/IP 印刷」が組み込まれていることを確認します。

②ない場合は、[ソフトウェアの追加]ボタンをクリックして、「TCP/IP プロトコルおよび関連コンポーネント」を選択します。

③「Windows NT TCP/IP 組み込みオプション」で「TCP/IP ネットワーク印刷サポート」をチェックします。
この後は画面の指示に従ってください。

WindowsNT の設定

4 プリンタを LPR Port で接続

①プリンタを登録します。

「メイン」グループの「プリントマネージャー」アイコンをダブルクリックし、「プリンタ」メニューから、「プリンタの作成」をクリックします。

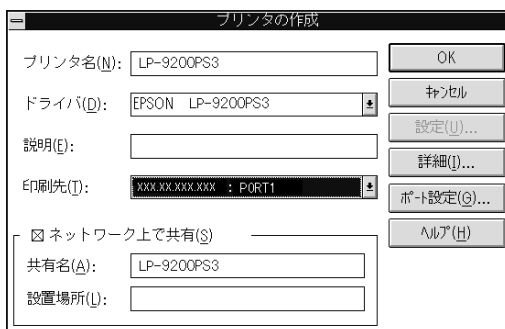
以下の画面で「プリンタ名」、「ドライバ」を設定します。

「ネットワークで共有」チェックボックスにチェックマークを入れ、「共有名」と「設置場所」を入力します。「設置場所」は省略できます。

②上の画面で、「印刷先」のリストボックスから「その他」を選択します。

「印刷先」画面が表示されます。「LPR Port」を選択して[OK]ボタンをクリックします。

③「LPR互換プリンタの追加」ダイアログが表示されるので、プリンタのIPアドレスとプリンタ名（**半角英数字の大文字で「PORT1」**と入力してください）を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

④「プリンタの作成」ダイアログで「印刷先」欄が「IP アドレス：プリンタ名」という表示になれば設定は完了です。

設定したプリンタ名は、クライアントがネットワークプリンタをインストールする際の接続先になります。プリンタ名をクライアントに知らせておいてください。

5 スプールディレクトリのアクセス権変更

WindowsNT3.51 Server で共有プリンタを作成した場合、スプールディレクトリのアクセス権を変更する必要があります（ファイルシステム NTFS を選択したとき）。

①ファイルマネージャを起動し、カーソルを
\WINNT\SYSTEM32\SPOOL\PRINTERS にあわせます。
②メニューから「セキュリティアクセス権」を選択します。
③グループ「Everyone」のアクセス権を「追加と読み取り（RWX）（RX）」に変更し、[OK]ボタンをクリックします。

ディレクトリのアクセス権
ディレクトリ(I): C:¥WINNT ¥system32¥spool¥PRINTERS
所有者(O): Administrators
□ サブディレクトリのアクセス権を置き換える(E)
☒ 既存ファイルのアクセス権を置き換える(F)
名前(N):

Administrators	フル コントロール
CREATOR OWNER	文書の管理
Everyone	追加と読み取り (RWX) (RX)
Power Users	フル コントロール

アクセス権の種類(T): 追加と読み取り
OK ｷｬﾝｾﾙ 追加(A)... 削除(R) ﾍﾙﾌﾟ(H)

LPR で使用する場合、設定はこれで終了です。
DHCP サーバ上で使用する場合のみ、次のページに進んでください。

DHCPでの印刷

本プリンタのネットワークインターフェイスは、DHCPを使用して、IPアドレスなどを自動的に設定することもできます。

DHCPについて

- **DHCPを使用するには、アドレスを管理するDHCPサーバ（WindowsNTサーバ）が必要です。**
- **DHCPとは**
TCP/IPネットワークを使ってIPアドレスをホストに割り当てたり、その他の設定（サブネットマスクやゲートウェイアドレス）を自動的に設定することができます。
- **DHCPの設定は、プリントサーバのアドレスを永久リースまたは永久予約に設定してください。この設定にしないと、他のホストにプリントサーバと同じアドレスが割り当てられてしまうことがあります。**

本プリンタでDHCPを使う場合は、Webブラウザユーティリティで設定します。

Webブラウザユーティリティ使用時の注意

- **Webブラウザユーティリティは、プリンタに内蔵しているプログラムです。プリンタのIPアドレスを設定後、使用可能になります。**
- **お使いのコンピュータにWebブラウザをインストールしておいてください。**
- **Webブラウザユーティリティでの設定が終了するまで、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。**

1 プリンタの起動

プリンタの電源をオンにします。

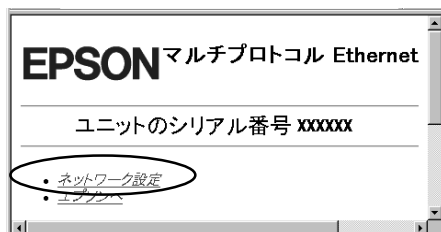
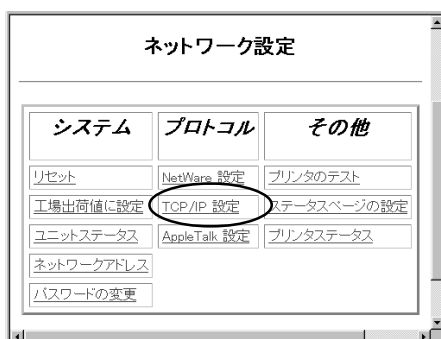
2 Webブラウザユーティリティの起動

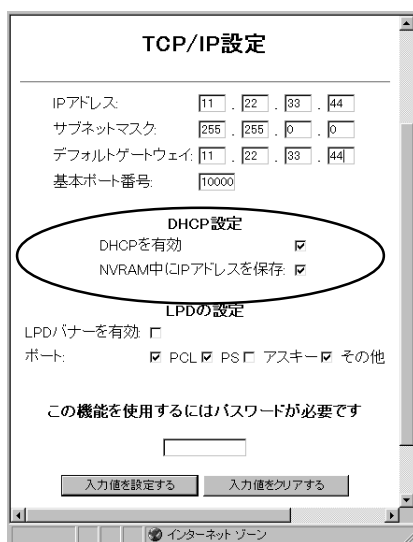
Webブラウザを起動して、次の書式でURLを入力し、[Enter]キーを押します。

書式）http://プリンタのIPアドレス/

例）　http://192.168.100.201/

3 DHCP 設定画面の起動

①次の画面が表示されますので、「ネットワーク設定」をクリックします。

②「TCP/IP 設定」をクリックします。

4 DHCP の設定

DHCP の情報を設定します。

設定項目	設定内容
DHCPを有効	DHCPを使う場合はクリックして、チェックマークを付けます。
NVRAM中に IPアドレスを保存	この欄はチェックを付けたままにしておきます。**設定の変更はしないでください。**

5 設定の保存

①設定が終了したら、パスワード入力欄にパスワード（初期値は sysadm）を入力して、[入力値を設定する]ボタンをクリックします。
「更新に成功しました」と表示されたら設定は終了です。このメッセージが表示されるまで、Web ブラウザを終了しないでください。

パスワードの設定については、9-2 ページをご覧ください。

②設定を有効にするため、プリンタをリセットしてください。
Web ブラウザユーティリティの「ネットワーク設定」画面にある「システム」メニューの「リセット」で行うか、プリンタの電源を再投入すると、リセットできます。

6 UNIXの設定

プリンタをUNIX上で使う場合の、lpdの設定と印刷コマンドについて説明します。

概要

対応システム

OS

- SunOS 4.1.3/4.1.4/5.3
- Solaris 1.1.3（SunOS 4.1.3）/2.3（SunOS 5.3）/2.4/2.5/2.6
- HP-UXシリーズ700および800の、バージョン9.014/10.0/11.0

モード

プリンタベースのlpdに対応します。プリンタは、ラインプリンタデーモンを実行するホストとして働きます。

lpdは、UNIXの標準ラインプリンタデーモンです。lpdを使用すると、ワークステーションにソフトウェアをインストールすることなく、TCP/IPネットワークを通じて印刷することができます。

lpd 印刷

ここでは、SunOS、Solaris、HP-UX の各システムごとに、プリンタサーバの LPD 印刷プロトコルの使用方法を説明します。

lpd を使ってプリンタにジョブを送る、ホスト上のリモートプリンタをセットアップします。

各項目の内容

次ページから説明する各項目について、名称とその内容について説明します。

項目名	内容	本文中の例
プリンタの論理名	lpコマンドで使用する名前	Rprinter
ホスト名	/etc/hostsに登録するプリンタのホスト名	HOSTNAME
リモートプリンタ名	lpdキューの名前	PORT1

リモートプリンタ名は、必ず「PORT1」を指定してください。

SunOS

1 ログイン

プリンタと同じサブネットのホストに、superuser（root）としてログインします。

2 LPD の確認

①お使いのシステムで LPD がサポートされているかの確認をします。

```
> #ps -ax | grep -v grep | grep lpd
```

システムがプロセス番号を返す場合は、LPD がサポートされています。手順 3 へ進みます。

システムが LPD のプロセス番号を返さない場合には、②へ進みます。

② LPD プロセスを起動します。

```
> #/usr/lib/lpd
```

3 プリンタのIPアドレス追加

/etc/hostsに、プリンタのIPアドレスとホスト名を追加します。

書式）IPアドレス　ホスト名

例）　138.239.252.183　HOSTNAME

4 スプールディレクトリの作成

スプールするディレクトリを作成します。

例）

```
>    #mkdir /usr/spool/lpd/Rprinter
>    #chown daemon /usr/spool/lpd/Rprinter
>    #chgrp daemon /usr/spool/lpd/Rprinter
```

5 プリンタエントリの追加

/etc/printcapにプリンタエントリを追加します。

```
書式）> プリンタの論理名 | プリンタ名|port_1:\
        :lp=:\
        :rm=ホスト名:\
        :rp=リモートプリンタ名（PORT1と指定):\
        :mx#0:無制限バッファサイズの指定
        :if=ログの指定（印刷処理などをログに残す場合のファイル名):\
        :sd=スプールディレクトリ名（印刷データを一時スプールしておく
            ディレクトリ):
例）  >  Rprinter | LP-9200PS3|port_1:\
        :lp=:\
        :rm=HOSTNAME:\
        :rp=PORT1:\
        :mx#0:\
        :if=/usr/spool/lpd/ERRORLOG:\
        :sd=/usr/spool/lpd/Rprinter:
```

6 プリントキューのスタート

プリントキューをスタートします。

```
書式）>  #lpc start プリンタの論理名
 例）>  #lpc start Rprinter
```

7 印刷

lpコマンドでファイルを印刷します。

```
書式）>  #lpr  -P プリンタの論理名  PostScript ファイル
例）  >  #lpr -PRprinter file_name
```

Solaris

1 ログイン

プリンタと同じサブネットのホストに、superuser（root）としてログインします。

2 プリンタのIPアドレス追加

/etc/hostsファイルに、プリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

書式）IPアドレス ホスト名

例） 138.239.252.183 HOSTNAME

3 プリントサーバ登録

ホスト名をプリントサーバとして登録します。

書式）> #lpsystem -t bsd ホスト名

例） > #lpsystem -t bsd HOSTNAME

4 プリンタ作成

lpadminコマンドで、lpスプーラへプリンタを追加します。

書式）> #lpadmin -pプリンタの論理名 -s ホスト名\!PORT1
-I ファイルコンテンツの種類 -T プリンタの種類

例） > #lpadmin -p Rprinter -s HOSTNAME\!PORT1 -I PS -T PS

5 プリンタの使用を可能にする

Solaris 2.6以降をお使いの場合、以下の操作は不要です。

①acceptコマンドで、プリント要求の許可を行います。

書式）> #/usr/lib/accept プリンタの論理名

例） > #/usr/lib/accept Rprinter

②enableコマンドを使用して、プリント要求処理の許可をします。

書式）> #/usr/bin/enable プリンタの論理名

例 > #/usr/bin/enable Rprinter

6 印刷

lpコマンドでファイルを印刷します。

書式）> #lp -dプリンタの論理名 PostScriptファイル

例） > #lp -dRprinter file_name

HP/UX

HP/UXでの設定には、2通りの方法があります。

SAMを使用した設定

SAM(System Administration Manager）を使用した設定方法を説明します。

1 **ログイン**

プリンタと同じサブネットのホストに、superuser（root）としてログインします。

2 **プリンタのIPアドレス追加**

/etc/hostsに、プリンタのIPアドレスとホスト名を追加します。
書式）IPアドレス ホスト名
例）　138.239.252.183 HOSTNAME

3 **プリンタのネットワーク設定**

①次のコマンドでsamを実行します。

```
>    #sam
```

②”Printers and Plotters ->”行を選択し、”Printers/Plotters”を選択します。
③メニュー“Action”で”Add Remote Printers/Plotters ->”を選択し、リモートプリンタの設定を追加します。
ウィンドウが表示されたら、値を追加してプリンタのネットワーク設定を行います。次の例を参照してください。
例）

```
Printer Name              Rprinter
Remote System Name        HOSTNAME
Remote Printer Name       PORT1
[Remote Cancel Model...]  rcmodel
[Remote Status Model...]  rsmodel
[Printer Class]
[ ]Make this the system default printer.
[ ]Allow anyone to cancel a request.
[*]Remote printer is on a BSD system.
```

④設定が終了したら、[OK]を押し、設定を登録してsamを終了します。

4 印刷

次のようにコマンドを入力します。

書式）>　#lp -D プリンタの論理名 PostScript ファイル

例）　>　#lp -DRprinter file_name

コマンドラインを使用した設定

1 ログイン

プリンタと同じサブネットのホストに、superuser（root）としてログインします。

2 ネットワークインターフェイスの IP アドレス追加

/etc/hosts に、プリンタの IP アドレスとホスト名を追加します。

書式）IP アドレス ホスト名

例）　138.239.252.183 HOSTNAME

3 リモートプリンタの設定

① lpshut コマンドを使用して、lp スプーラを停止します。

　>　#/usr/lib/lpshut

② lpadmin コマンドを使用して、lp スプーラへプリンタを追加します。

　書式）> #/usr/lib/lpadmin -p プリンタの論理名 -v/dev/null -m リモートモデルプログラム名（/usr/spool/lp/model にあるモデル・インターフェイス・プログラムを選択）-orm ホスト名 -orpPORT1

　例）　> #/usr/lib/lpadmin -pRprinter -v/dev/null -mrmodel -ormHOSTNAME -orpPORT1

③ accept コマンドを使って、プリント要求の許可を行います。

　書式）> #/usr/lib/accept プリンタの論理名

　例）　> #/usr/lib/accept Rprinter

④ enable コマンドを使って、プリント要求処理の許可をします。

　書式）> #/usr/lib/enable プリンタの論理名

　例）　> #/usr/lib/enable Rprinter

⑤ lpsched コマンドを使用して、プリントスケジューラを起動します。

　>　#/usr/lib/lpsched

4 印刷

次のようにコマンドを入力します。

書式）>　#lp -D プリンタの論理名 PostScript ファイル

例）　>　#lp -DRprinter file_name

7 ピア・ツー・ピア印刷

TCP/IPまたはIPX/SPXと付属のリダイレクトソフトを使うことにより、サーバの設定がない状態でも、プリンタから直接印刷ができます。

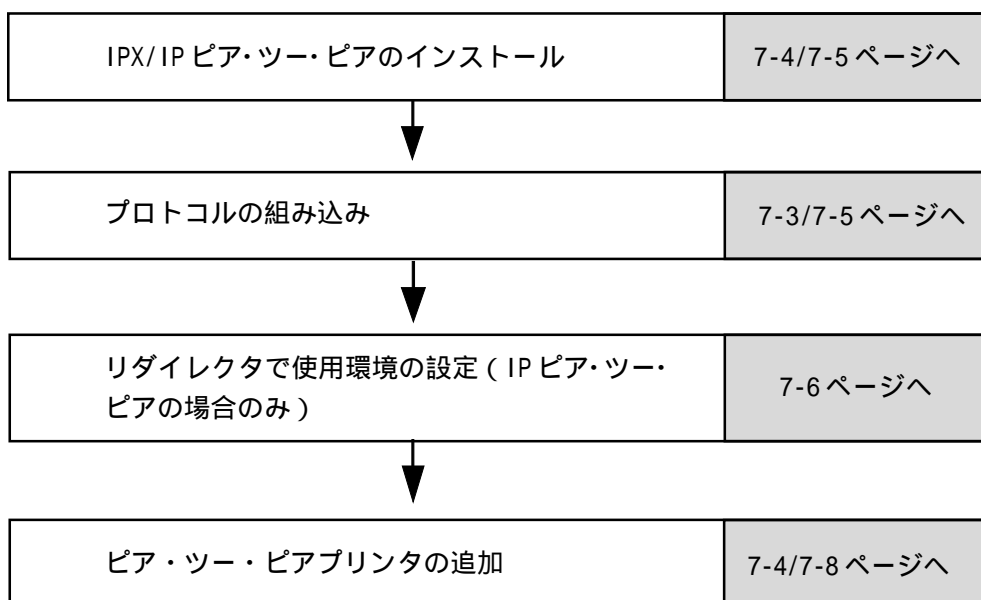
概要

対応システム

- OS
  Windows95/98、WindowsNT4.0J Workstation
- 使用ソフトウェア
  同梱のリダイレクトソフトには、2種類あります。それぞれの環境にあったソフトウェアをお使いください。

ソフトウェア	特徴	必要な環境
IPXピア・ツー・ピア	TCP/IPの設定、NetWareサーバがない状態で印刷できる	IPXがインストールされ、NetWareが有効になっていること
IPピア・ツー・ピア	サーバの設定がない状態で印刷できる	TCP/IPがインストールされていること

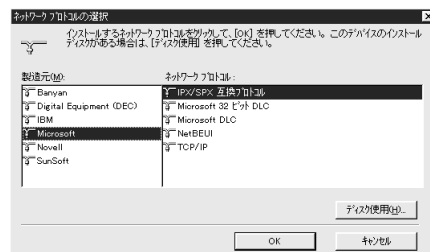
- 印刷できるPSファイルの形式
  ASCII形式とTBCP形式のPSファイルを印刷できます。
  TBCPを指定せずに作成されたバイナリPSファイルは印刷できません。

作業の流れ

IPX ピア･ツー･ピア

IPX/SPX 環境の設定

1

IPX/SPX プロトコルの組み込み

①印刷を実行するコンピュータに IPX/SPX プロトコルがあることを確認します。
②ない場合、コントロールパネル内の[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[追加]ボタンをクリックして「プロトコル」-「IPX/SPX 互換プロトコル」を追加します。

2

NetWare を「有効」に設定

Web ブラウザユーティリティの「NetWare 設定」にある「NetWare を有効」欄にチェックマークを付けて、設定を保存します。詳しくは**3-9 ページ**をご覧ください。

従来の NetWare の印刷機能を使用しない場合も、この設定を行ってください。

3

プリンタ名の設定（必要な場合のみ）

ピア･ツー･ピアプリンタを登録するときに表示される名前を変更する場合は、Web ブラウザユーティリティの「NetWare 設定」で、「プリントサーバ名」を変更します。詳しくは**3-9 ページ**をご覧ください。

IPX ピア･ツー･ピアのインストール

印刷データを送るコンピュータに、リダイレクタをインストールします。

1 **CD-ROM のセット**

同梱の CD-ROM をドライブにセットします。

2 **Setup.exe の実行**

Windows メニューの「スタート」-「ファイル名を指定して実行」をクリックして「ファイル名を指定して実行」画面を開き、次の実行コマンドを入力して[OK]ボタンをクリックします。

例）D:\NETWORK\IPX_P2P\Setup（D ドライブに CD-ROM をセットした場合）

3 **インストール**

[IPX ピア･ツー･ピア Setup]画面で[次へ]をクリックします。後は、画面の指示に従ってインストールします。

プリンタの追加

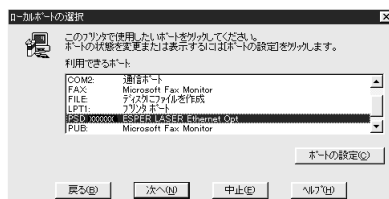
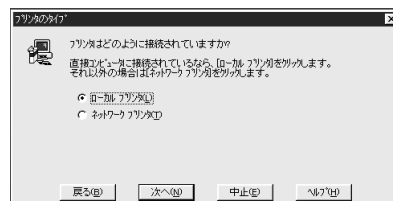
プリンタドライバのセットアップを起動して、ピア･ツー･ピアプリンタを追加します。詳しくはユーザーズガイドを参照してください。

1 **プリンタドライバのセットアップ起動**

プリンタドライバの Setup.exe を起動します。

右の画面が表示されたら、「ローカルプリンタ」を選択します。

2 **ポートの選択**

ポートの選択を求められたら、ピア･ツー･ピアのポートを選択してください。ピア・ツー・ピアのポートは、ネットワークインターフェイスのシリアル番号で表示されます。

シリアル番号は、ステータスページ（付録 -2 ページ）にある「Unit Serial No」欄で確認できます。

あとは画面の指示に従ってインストールします。

IP ピア･ツー･ピア

IP ピア･ツー･ピアのインストール

印刷データを送るコンピュータに、リダイレクタをインストールします。

1 **CD-ROM のセット**

同梱の CD-ROM を、ドライブにセットします。

2 **Setup.exe の実行**

Windows メニューの「スタート」-「ファイル名を指定して実行」画面を開き、次の実行コマンドを入力して[OK]ボタンをクリックします。
例）D:\NETWORK\IP_P2P\Setup（D ドライブに CD-ROM をセットした場合）

3 **インストール**

[IP ピア･ツー･ピア Setup]画面で[次へ]をクリックします。後は、画面の指示にしたがってインストールします。

TCP/IP の組み込み

印刷を実行するコンピュータに TCP/IP を組み込みます。組み込み方法は2-3 ページ「TCP/IP の組み込み」を参照してください。

IP ピア･ツー･ピアでの使用環境の設定

IP ピア･ツー･ピアを使って、ピア・ツー・ピアの使用環境を設定します。

1 IP ピア･ツー･ピア設定

「スタート」メニューの「プログラム」-「P2P-ip」-「IP ピア･ツー･ピア」を起動して、ピア・ツー・ピアプリンタの使用環境を設定します。

設定項目	設定内容
最大ホップ数	ピア・ツー・ピアプリンタを使う際の、有効ホップ数を設定します。0から15の値が設定できます。
IPベース ポート	通常は変更しないでください。変更の際は、ネットワーク管理者に相談してください。
プリンタ名	ポート名の表示方法を選択します。 プリンタを登録するときに、ここで選択した名称で、ポート名が表示されます。 シリアル番号別/IPアドレス別/DNS名別/プリンタ名別から1つをチェックします。

ホップ数の設定は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。ホップ数の設定により、ネットワーク上のトラフィックが増加したり、ダイヤルアップルータの意図しない接続の発生することがあります。

2 ピア・ツー・ピアプリンタの設定（必要な場合のみ）

初期値のポート名以外の名前で登録したい場合は、ここでピア・ツー・ピアプリンタを設定します。ここで設定した項目が、プリンタを追加するときに「利用できるポート」として表示されます。

設定項目	設定内容
IPアドレス	ピア・ツー・ピアプリンタのIPアドレスを設定します。
プリンタ名	プリンタ名を入力します。
ポート	通常は変更しないでください。変更する場合はネットワーク管理者に相談してください。
説明	任意の内容を入力します。

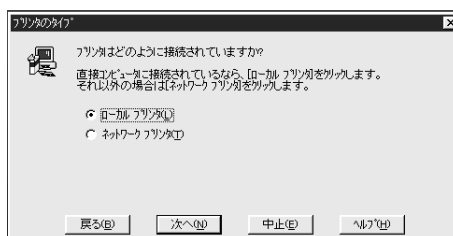
設定が終了したら、[追加]ボタンを押してプリンタを追加します。設定したプリンタが「接続されているプリンタ」欄に表示されます。

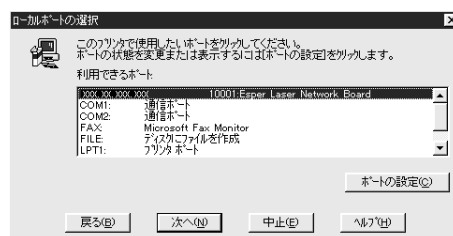
プリンタの追加

プリンタドライバのセットアップを起動して、ピア・ツー・ピアプリンタを追加します。詳しくは、プリンタ本体のユーザーズガイドを参照してください。

1 プリンタドライバのセットアップ起動

プリンタドライバのSetup.exeを起動します。

右の画面が表示されたら、「ローカルプリンタ」を選択します。

2 ポートの選択

ポートの選択画面で、ピア･ツー･ピアのポートを選択してください。

あとは画面の指示に従ってインストールします。

8 FTP印刷

Windows95/98/NT、UNIXでFTP印刷を使うと、Webブラウザまたはコマンドラインから、ファイルを直接印刷することができます。

概要

対応システム

- 対応OS
  Windows95/98、WindowsNT3.51/4.0、UNIX

使用上の注意

- プリンタに送るファイルの種類を必ずメモしておいてください。
- ファイルによっては正しく印刷できない場合があります。

Webブラウザから

Webブラウザを使って印刷する手順を説明します。

1 URL入力

Webブラウザを起動し、次の書式でURLを入力します。
書式）ftp://PORT1@プリンタのIPアドレス/
例）　ftp://PORT1@192.168.100.201/

2 ファイルの選択

システム上にあるファイルをクリックして、マウスを押さえたまま、Webブラウザのウィンドウまでドラッグします。

- **印刷できるPSファイルは、ASCII形式とTBCP形式です。**
- **FTP印刷では、複数のファイル名を選択することはできません。また、同時に複数の人が同じポートにログインすることはできません。**

3 印刷

[OK]をクリックします。選択したファイルがプリンタに送られます。

コマンドラインから

コマンドラインから印刷する手順を説明します。

1 ログイン

MS-DOS プロンプトで、次の書式を入力します。

書式）ftp_（印刷先サーバの IP アドレス）（_は半角スペース）

例）　ftp_192.168.100.201

2 ユーザ名入力

「User:」と表示されたら、「PORT1」と入力して、[Enter]キーを押します。

3 印刷

印刷するファイル名を入力します。

書式）put_ファイル名（_は半角スペース）

例）　put_file1.txt

印刷データがプリンタへ送られます。

ftp を終了するときは、「quit」と入力して[Enter]キーを押します。

9 ユーティリティの各種設定

プリンタのネットワーク設定に使うWebブラウザユーティリティと、MAP、Telnetの各種設定を説明します。また、パスワードやステータスページ印刷の設定についても説明します。

Web ブラウザユーティリティ

ここでは、プリンタのネットワーク設定に使うWebブラウザユーティリティの各機能を説明します。

メインメニュー

システム

設定項目	設定内容
リセット	プリンタをリセットします。ユーティリティでプリンタのネットワーク設定を変更したときに使用します。リセットを行うと、プリンタの設定値が有効になります。
工場出荷値に設定	プリンタのネットワーク設定を工場出荷時の設定に戻します。 **この操作を行うと、プリンタのネットワークに関するすべての設定が消去されます。ご注意ください。** この操作を有効にするには、上の「リセット」を実行するか、プリンタの電源を再投入します。
ユニット ステータス	各プロトコルの現在の設定内容を表示します。
ネットワーク アドレス	プリンタのMACアドレスが表示されます。
パスワードの変更	パスワードを設定します。 このユーティリティで設定を変更するときや、Telnet接続へのログイン時に、ここで設定したパスワードの入力が必要になります。初期値はsysadmです。

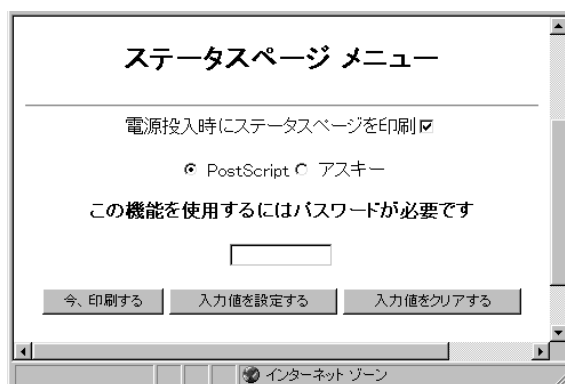
プロトコル

設定項目	設定内容
NetWare設定	NetWareを設定します。（**「3 NetWareの設定」**参照）
TCP/IP設定	TCP/IPを設定します。 IPアドレスとLPDの設定は**「2 TCP/IPの設定」**を、DHCPの設定は**「5 WindowsNTの設定」**をご覧ください。
AppleTalk設定	AppleTalkを設定します。（**「4 Macintoshの設定」**参照）

その他

設定項目	設定内容
プリンタのテスト	印刷テストをします。実行時には、パスワードの入力が必要です。
ステータスページの設定	プリンタの起動時に、ステータスページを印刷するかしないかの設定ができます。 この欄にチェックを付けると、起動時に毎回ステータスページが印刷されます。
プリンタステータス	プリンタの現在の状態が表示されます。

「ステータスページの設定」画面

ユーティリティの各種設定

MAP

CD-ROM内にある「MAP」は、ネットワーク上にあるLP-9200PS3、またはLP-8400PS3（オプションのI/Fボードを装着した場合のみ）を検索し、Webブラウザユーティリティを起動させるユーティリティです。

MAPは、NetWareまたはTCP/IPをお使いの方のみ使用できます。

MAPからWebブラウザユーティリティを起動することにより、プリンタのネットワーク設定ができます。

MAPを使う前に

- **操作パネルでプリンタのIPアドレスを設定してください（2-8ページ）。**
- **MAPはWebブラウザ上で動作します。お使いのコンピュータに、Webブラウザをインストールしてください。**
- **NetWareでお使いの方は、WebブラウザユーティリティでNetWareを「有効」に設定してください（3-9ページ）。**

1 MAPのインストール

同梱のCD-ROMをセットして、「MAP」フォルダにある「Setup.exe」ファイルをダブルクリックします。

Setup.exeアイコンをダブルクリックしても起動できない場合は、Windowsメニューの[スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選択し、次のコマンドを入力して[OK]ボタンをクリックします。

例）　D:\NETWORK\Map\Setup.exe

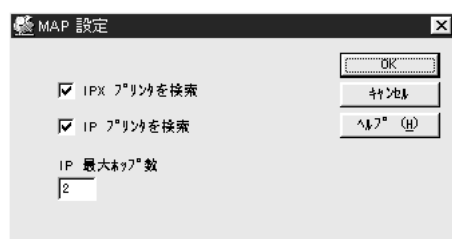
（DドライブにCD-ROMをセットした場合）

あとは、画面の指示に従ってインストールします。

2 MAP設定

Windowsメニューの「スタート」-「プログラム」-「Map」-「MAP設定」を起動します。

①NetWareをお使いの方は「IPXプリンタを検索」にチェックします。
TCP/IPをお使いの方は「IPプリンタを検索」にチェックします。

②「IP最大ホップ数」に、検索するネットワークインターフェイスの最大ホップ数を入力します。

3 MAP の起動

Windows メニューの[スタート]-[プログラム]-[Map]-[MAP]をクリックして起動します。IPX または IP プリンタが検索されて表示されますので、設定するプリンタ名をクリックします。

・ TCP/IP対応プリンタの場合
　書式）プリンタの IP アドレス /NPS ネットワークインターフェイスのシリアル番号またはプリントサーバ名
・ IPX対応プリンタの場合
　書式）PSD ネットワークインターフェイスのシリアル番号

TCP/IP 対応ﾌﾟﾘﾝﾀ

http:// XXX.XX.XX.XX /　NPS XXXXXX　Esper Laser Network Board

IPX/SPX 対応ﾌﾟﾘﾝﾀ

PSD XXXXXX　ESPER LASER Ethernet Option Supporting Novell (NDS), TCP/IP and AppleTalk

- **ネットワークインターフェイスのシリアル番号は、ステータスページ（付録 -2 ページ）の「Unit Serial No」欄で確認します。**
- **「プリントサーバ名」は、Web ブラウザユーティリティの「NetWare 設定」で確認します。**

4 Web ブラウザユーティリティの起動

手順 3 を実行すると、Web ブラウザユーティリティが起動します。

各項目の設定については、ご利用の環境にあったページをご覧ください。

Telnet

ここでは、Telnetからのネットワーク設定について説明します。

Windows95/98/NTにTCP/IPが正常に組み込まれている場合は、Telnetからも各種設定ができます。

Telnetでメニューを何も選択せずに2分経過すると、あと2分でTelnet接続が切断されるという警告「*TWO MUNUTE WARNING...」が表示されます。その後2分経過すると、Telnet接続は切断されます。**

メイン画面

ここでは、Telnetにある1.から6.までの各種設定方法を説明します。

Telnetメイン画面

```
Main Menu

1. IP Parameters
2. LPD Printers
3. Protocols
4. Reset Unit
5. Restore Factory Defaults
6. Change Password
E. Exit

Please Enter Selection(? for Help):
```

Telnetの起動と終了

起動

1 **Telnetの起動**

MS-DOSプロンプトを起動し、次のように入力して、[Enter]キーを押します。
書式) telnet_プリンタのIPアドレス(_は半角スペース)

2 **ログイン**

「login:」と表示されたら、guestまたは「sysadm(パスワードの初期値)」と入力します。
メニューを表示するだけで良い場合は「guest」、設定を変更したい場合は「sysadm」と入力し、[Enter]キーを押してください。

3 **パスワード**

「password:」と表示されたら、同様に「guest」または「sysadm」と入力し、[Enter]キーを押します。
メイン画面が表示されます。

終了

メインメニューで[E]キーを押して[Enter]キーを押し、1～3いずれかの番号を選択して、Telnetを終了します。

1:設定を保存してTelnetを終了します。

2:設定を保存してリセットします。

3:設定を保存せずにTelnetを終了します。

```
1. Save Changes and Exit
2. Save Changes and Reset
3. Exit Without Saving Changes

Please Enter Selection (? for
Help):
```

Telnetで設定を変更したら、必ずプリンタをリセットしてください。上の画面で2.を選択するか、プリンタの電源を再投入すると、リセットできます。
設定を保存しないときは、リセットは不要です。

IP アドレスの設定

プリンタのIPアドレス等の設定は、1. IP Parametersで行います。メイン画面で「1」を入力して[Enter]キーを押します。

次の画面で、各アドレスを設定します。設定したい項目の番号を入力して[Enter]キーを押し、IPアドレス等を入力して[Enter]キーを押します。
設定するアドレスについては、**付録「困ったときは」**を参照してください。

```
IP Parameters

1. IP Address              XXX.XXX.XX.XX
2. Subnet Mask             XXX.XXX.XXX.X
3. Default Gateway         XXX.XXX.XX.X
4. Base Port Number        10000

Please Enter Selection (? for Help) :
```

設定項目	設定内容
IP Address	IPアドレスを設定します。
Subnet Mask	サブネットマスクを設定します。
Default Gateway	ゲートウェイを設定します。
Base Port Number	通常は変更しないでください。変更する場合はネットワーク管理者に相談してください。 初期値は10000です。

IP Parameterの設定を終了するときは、上の画面で[Enter]を押すと、メインメニューに戻ります。

LPDプリンタの設定

LPDプリンタの設定は、「2. LPD Printers」で行います。メイン画面で「2」を入力して[Enter]キーを押します。

「1.Printer 1」の設定は、変更しないでそのままお使いください。

```
LPD Printers

1.Printer 1        PCL PS OTHER
2.Banners          DISABLED
```

「2」を入力して[Enter]キーを押すと、lpdバナー印刷のオン・オフが切り替えられます。

LPD Printersの設定を終了するときは、上の画面で[Enter]を押すと、メインメニューに戻ります。

ネットワークプロトコルの有効・無効の切り替え

ネットワークプロトコルの切り替えは、「3. Protocols」で行います。
メイン画面で「3」を入力して[Enter]キーを押します。

初期値は、ネットワークOSとしてNetWareとAppleTalkが有効になっています。
「1」または「2」を入力して[Enter]を押すと、有効・無効を切り替えられます。

```
Protocols

1. NetWare         ENABLED
2. AppleTalk       DISABLED
```

Protocolsの設定を終了するときは、上の画面で[Enter]を押すと、メインメニューに戻ります。

プリンタのネットワーク設定を有効にする

ネットワーク設定のリセットは、ネットワークに関して設定した内容を有効にするときなどに使います。「4. Reset Unit」で行います。

メインメニューで「4」を入力して[Enter]キーを押してください。ネットワーク設定がリセットされ、設定した内容が有効になります。
この値は、Telnetプログラムを終了するか、プリンタの電源を入れ直したときに有効になります。

工場出荷時の設定に戻す

工場出荷時の設定に戻すと、プリントサーバ名やIPアドレスなど、すべてのデータが消去されます。ご注意ください。

プリンタのネットワーク設定を出荷時の設定値に戻す場合は、「5. Restore Factory Defaults」で行います。
メインメニューで「5」を選び、[Enter]キーを押してください。

確認メッセージが表示されたらyまたはnを入力して[Enter]キーを押します。
yを入力すると、すべて出荷時のデフォルト値に戻ります。この値は、Telnetプログラムを終了するか、プリンタの電源を入れ直したときに有効になります。

パスワードの変更

パスワードの変更は、「6. Change Password」で行います。メインメニューで「6」を選び、[Enter]キーを押してください。
パスワードの初期値は「sysadm」です。

このパスワードは、Webブラウザユーティリティのパスワードとしても使用しますので、変更の際は十分ご注意ください。
このパスワードの変更は、Webブラウザユーティリティでも行えます。

New Password のところに8文字までのパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。もう一度、Retype new passwordのところに同じパスワードを入力し、[Enter]キーを押します。

```
Old password:
New password:
Retype new password:
```

付録

プリンタのネットワーク設定を工場出荷時の設定に戻す方法や、ステータスページの内容、困ったときの対処方法などを説明します。

ステータスページ

プリンタの電源を入れると、ステータスページが印刷されます。

初期設定では、プリンタの電源投入後、毎回このページが印刷されます。毎回印刷しない設定にする方法は、**9-3ページ**をご覧ください。

プリンタのネットワーク設定を変更した後には、必ずこのページの内容を確認してください。設定したプロトコルが記載されていない場合は、正しい設定を行ったかどうか確認してください。

プリンタのネットワーク設定を印刷するのは「ステータスページ」です。プリンタ本体の設定を記載しているのは「ステータスシート」です。

印刷例）

```
-----------------------------------------------------------------------------------------------
Unit Serial No: XXXXXX               Version:     XX.XX

Network Address: XX:XX:XX:XX:XX:XX

Network Topology:Ethernet            Connector:  RJ45

Network Speed:     10 Megabits

Novell Network Information           enabled
 Print Server Name:       OTS_25.121
 Password Defined:        no
 Prefferred Server Name not defined
 Directory Services Context not defined
 Frame Type:        Novell 802.3

Peer-to-Peer Information        enabled
 Frame Type:        Novell 802.3
 Network ID:        11111

TCP/IP Network Information           enabled
 Frame Type:        Ethernet II          Protocol Address:Not Configured
 Subnet Mask:       255.0.0.0            Default Gateway:0.0.0.0

AppleTalk Network Information        enabled
 Frame Type:        802.2 SNAP On 802.3
 Protocol Address:Net Number 104    Node Number 105   Socket Number 114
 Preferred AppleTalk Zone:      Default Zone


-----------------------------------------------------------------------------------------------
Novell Connection Information

Printer Name:       Printer      0
 File Server: PS280
            Queue:     3500_NIC   Priority: 1   Attached: Yes
            No Notify Defined
 File Server: 55SX
            Queue:     3500_NIC   Priority: 1   Attached: Yes
            Notify (Job Owner)           First: 60     Repeat:60

Peer-to-Peer Connection Information
 Printer Name:

AppleTalk Connection Information
 AppleTalk Printer Name:       EPSON LP-9200PS3

TCP/IP Connection Information
 Port Number:       10001
-----------------------------------------------------------------------------------------------
```

付録

ユーティリティのアンインストール

「IP/IPXピア・ツー・ピア」、および「MAP」のアンインストールは次のように行います。

IPピア・ツー・ピア、MAP

1 「アプリケーションの追加と削除」起動

「マイコンピュータ」内の「コントロールパネル」から、「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックして起動します。

2 アプリケーションの削除

「セットアップと削除」画面で「MAP」および「IPピア・ツー・ピア」を選択し、[追加と削除]ボタンをクリックします。

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」というメッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。

IPXピア・ツー・ピア

1 IPXピア・ツー・ピアプリンタ削除

IPXピア・ツー・ピアを使用しているすべてのプリンタを削除してください。

2 「アンインストール」起動

[スタート]メニューの[プログラム]-[P2P-ipx]-[IPXアンインストール]をクリックして起動します。

3 アンインストール

メッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックして実行します。

その後、「マイコンピュータ」内の「コントロールパネル」-「アプリケーションの追加と削除」を起動して、「IPXピア・ツー・ピア」を削除します。

工場出荷時の設定に戻す

次のような場合は、必ずプリンタのネットワークを初期化して、工場出荷時の設定に戻してください。

1　初めてプリンタの電源を入れるとき

2　プリンタを異なったネットワーク環境へ移動させたとき

3　プリンタに誤ったネットワーク設定をして、プリンタが設定ユーティリティに表示されないなど、正常動作しなくなったとき

工場出荷時の設定に戻すと、プリントサーバ名やIPアドレスなど、すべてのデータが消去されます。ご注意ください。

初期化は、1と2の場合はWebブラウザユーティリティ（**9-2ページ**）またはTelnet（**9-10ページ**）からできますが、3など、ネットワークにアクセスできない場合は、以下の方法でも行えます。

1 プリンタの電源OFF

プリンタの電源をOFFにします。

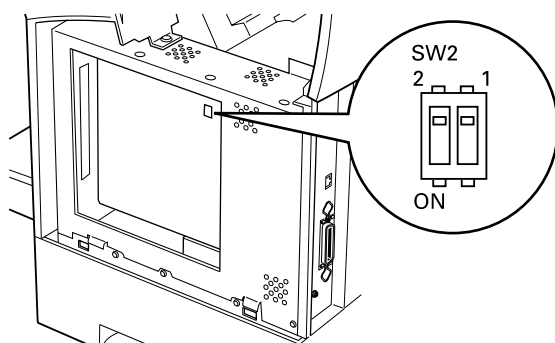
2 プリンタ右側カバー取り外し

プリンタのラッチを押して上カバーを開け、プリンタ右側のカバーを固定しているネジを外し、右側カバーを取り外します。

3 ディップスイッチの調整

下記の図のところにある、ディップスイッチ（SW2）の右側（1）のスイッチをONの位置にします。

ONの位置にします。

付録

4 プリンタの電源 ON

プリンタカバーをいったん閉めて、プリンタの電源を ON にします。

5 プリンタの電源 OFF

プリンタ背面にある緑と黄色の LED が交互に点滅し、プリンタの液晶ディスプレイに[オンライン]と表示されたら、プリンタの電源を OFF にします。

プリンタの液晶ディスプレイが[I/0ショキカチュウ]の状態のままで[オンライン]と表示されない場合がありますが、正常に初期化されています。約 30 秒経過してから、プリンタの電源を OFF にしてください。

6 ディップスイッチの調整

ディップスイッチ（SW2）の右側（1）のスイッチを OFF の位置に戻します。

7 プリンタ右カバー取り付け

プリンタ右側のカバーを取り付けます。

8 プリンタの初期化

[オンライン]スイッチを押しながら、プリンタの電源を ON にします。液晶ディスプレイに[EEPROM リセット]が表示されるまで、[オンライン]スイッチを押し続けます。

以上でネットワークの初期化は完了です。

困ったときは

ここでは、トラブルが発生したときの処置について、各OS毎に説明します。

全OS共通

ネットワーク印刷ができない

処置）

ステータスページを印刷してください。ステータスページが印刷できるか、また、ステータスページに印刷された内容から、ネットワークインターフェイスが正しく設定されているかを確認します。

ステータスページは、プリンタの電源を入れたときに印刷されます。

電源を入れたとき、ステータスページが印刷されないように設定したい

処置）

プリンタの電源を入れたときに印刷される「ステータスページ」を、印刷されないように設定することができます。
Webブラウザユーティリティ（**9-3ページ**参照）から設定できます。

使用しないプロトコルを止めたい

処置）

使用しないプロトコルへのアクセスを止める場合は、Telnetから、IPX/SPXおよびAppleTalkを無効にすることができます。**9-9ページ**を参照してください。

arpコマンドでIPアドレスを設定できない

処置）

pingコマンド実行後、「Reply from (IP address)...」のメッセージが確認できず、「Request Time Out」や「Reply from...:Destination host unreacheable」などのメッセージが表示される場合は、接続しているネットワークケーブル、ネットワーク機器などのネットワーク環境を確認してください。なお、arp、pingコマンドによる設定は、同一ネットワーク上でのみ行うことができます。

設定するIPアドレスが分からない

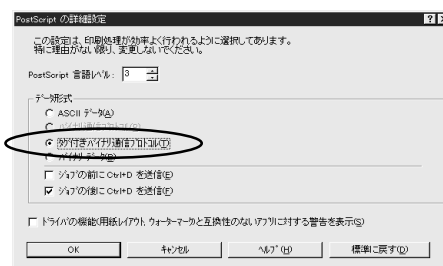
処置）

IPアドレスは、外部との接続（インターネットへの接続・電子メールなど）を行う際には、
JPNIC(http://www.nic.ad.jp/index-j.html)に申請を行って正式に取得していただく必要がありますので、システム管理者にご相談ください。
IPアドレスを使用するにあたって、外部との接続を将来的にも一切行わないという条件のもとに、下記の範囲のプライベートアドレスをご使用になることも可能です。
（RFC1918で規定されています）
プライベートアドレス：
10.0.0.1～10.255.255.254
172.16.0.1～172.31.255.254
192.168.0.1～192.168.255.254

印刷できるファイル形式

TCP/IP、IPX/SPX経由、またはピア・ツー・ピアで印刷できるPSファイルはASCII形式とTBCP形式です。
Windows上でTBCPを指定せずに作成されたバイナリPSファイルは印刷できません。
TBCPを指定するには、次の設定をします。

①「コントロールパネル」内の「プリンタ」フォルダを開きます。
②「LP-9200PS3」を選択し、「ファイル」メニューの「プロパティ」をクリックします。
③「PostScript」タブをクリックし、[詳細設定]ボタンをクリックします。
④「PostScriptの詳細設定」画面が表示されるので、「データ形式」で「タグ付きバイナリ通信プロトコル」をチェックしてください。

→

NetWare 環境

NetWare サーバ経由の印刷で、クライアントでは印刷が終了するが、プリンタから印刷されない

処置）

サーバでキュー / プリントサーバのユーザに、印刷を行おうとしているユーザが登録されているか確認してください。また、NetWare サーバにプリントサーバカードがログインしているかどうかご確認ください。

Macintosh 環境

セレクタにプリンタが表示されない

処置）

次のことを確認してください。

- Open Transport 非搭載機種の場合：
  コントロールパネルの「ネットワーク」で「EtherTalk」が選択されているか
- Open Transport 搭載機種の場合：
  コントロールパネルの「AppleTalk」で「Ethernet」が選択されているか、セレクタで AppleTalk が「使用」になっているか

ハブ、ケーブルなどのネットワーク機器もあわせてご確認ください。

ハブとは、イーサネットなどのネットワークケーブルを接続するための装置です。

付録

WindowsNT 環境

印刷ができない

処置)

LPR 接続の設定をする際、プリンタ名を半角大文字の「PORT1」と設定したかを確認してください。詳しくは、本マニュアルの「**5 WindowsNT の設定**」をご覧ください。

NTFS を使用している WindowsNT Server 3.51 経由で、クライアントから TCP/IP 印刷ができない

処置)

NTServer の \\WINNT\SYSTEM32\SPOOL\PRINTERS のディレクトリで、アクセス権の設定変更が必要です。詳しくは、**5-7 ページ**をご覧ください。

WindowsNT Server 3.51/4.0 経由で、管理者以外のクライアントから印刷できない

処置)

サーバ上でプリンタのアクセス権リストから "Creater Owner" が削除されている場合、もしくは "Creater Owner" の権利が「印刷」か「アクセス権なし」に設定されている場合にこの現象となります。正しく印刷するには、"Creater Owner" の権利を「文書 / ドキュメントの管理」に設定する必要があります。(初期設定は「文書 / ドキュメントの管理」です)

Web ブラウザユーティリティ

Web ブラウザユーティリティ設定時の注意

設定後、プリンタをリセットするときは、できるだけ「Web ブラウザユーティリティ」の「リセット」を使用してください。
プリンタの電源をオフにしてリセットする場合は、設定から1分以上経ってからにしてください。

索引

付録